

高知大学大学院総合人間自然科学研究科 教職実践高度化専攻  
設置の趣旨等を記載した書類

【 資 料 目 次 】

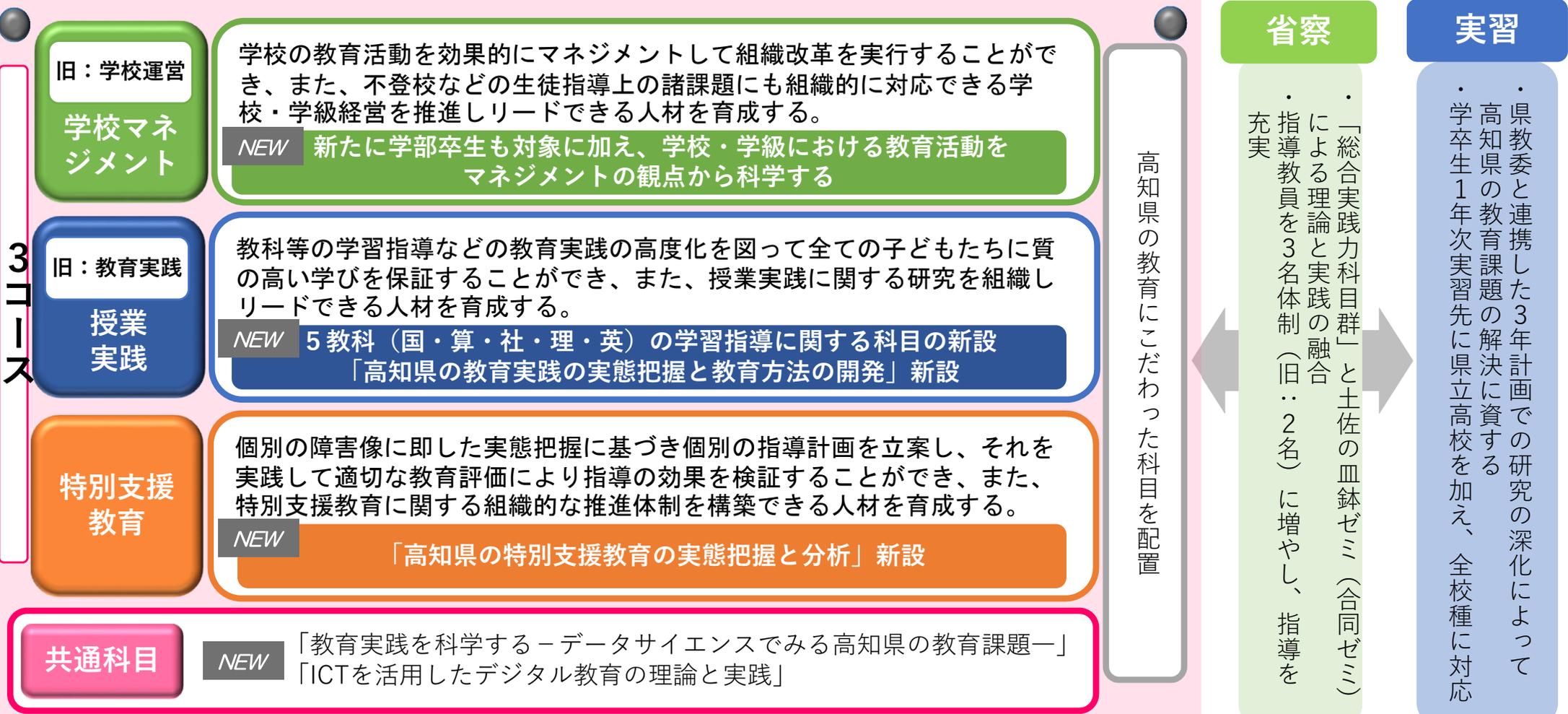
- 資料 1 : 高知大学教職大学院の概要、理念と特徴、理念と構成
- 資料 2 : 第 3 期 高知県教育振興基本計画 抜粋
- 資料 3 : 高知県教育委員会からの要望書
- 資料 4 : コース別の概要
- 資料 5 : 高知県教員育成指標 抜粋
- 資料 6 : 各コース・キャリア別の育成する力の概要
- 資料 7 : カリキュラムと育成する力
- 資料 8 : 授業時間割
- 資料 9 : 履修スケジュール
- 資料 10 : 履修モデル
- 資料 11 : 国立大学法人高知大学職員の定年規則
- 資料 12 : 教職大学院以外の学内の学部・大学院等で担当する授業科目

# 令和4年度～ 高知大学教職大学院の概要



【目的】複雑さを増していく現代社会の中で、子どもたちが自律的に未来を切り開いていけるための教育を構築・提供できる教員の育成

- 理論と実践の融合（教育/教育実践を科学する）
  - ✓ 教育/教育実践を科学的な視点で捉え研究的な方法で検証していくことを通して実践を深化させていける専門家の形成
- 高知県の教育課題解決に資する学び
  - ✓ 地域の教育課題解決と地域の教員育成にこだわったカリキュラム



入学定員	現職派遣	学部卒生	合計
学校マネジメントコース	10名程度	5名程度	15名
授業実践コース			
特別支援教育コース			

必要単位数				合計
共通科目	コース別 専門科目	総合実践力科目	実習科目	
20 単位	8 単位	8 単位	10 単位	46単位

# 高知県の国立大学に設置された教職大学院として-理念と特徴-

## 理論と実践の融合(教育/教育実践を科学する)

### 教育における理論と実践の融合を求めて

#### ○「総合実践力科目群」と土佐の皿鉢ゼミ

・省察科目「総合実践力科目群」(教育実践研究、総合実践研究)を配置

理論科目と実践科目を仲立ちする「総合実践力科目群」を配置して、理論と実践を融合させ課題の解決を図る

・「土佐の皿鉢ゼミ」による学びの深化・学習成果の共有

全教員・全院生・高知県教育委員会・実習校担当者が参画して合同ゼミを実施し、院生の研究内容を多角的な視点から省察・成果共有

#### ○科学的アプローチを可能とする能力の開発

NEW

・共通科目「教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー」の新設(令和2年4月開設済)

教育や教育実践を科学的に捉え、科学的な視点・手法により省察することで教育の効果的効率的な改善や創造を行う教員としての力量を高めていく

#### ○指導の多角的アプローチの充実

NEW

・院生1人に対する指導教員を3人に増やし、研究者教員と実務家教員が連携して多様な視点から指導し、理論と実践を融合



高知大学教職大学院

## 高知県の教育課題解決に資する学び

### 地域の教育課題解決と教員育成にこだわったカリキュラム

#### ○高知県の教育課題に対応した教科領域科目の導入

NEW

・高知県教育委員会からの要望に基づき、5教科の科目を配置  
新たに教科を取扱うことによって、国語、算数・数学、社会、理科、英語に関する実践的かつ専門的な教科指導力を育成

#### ○高知県の教育課題をテーマとして学校と教員の在り方を考える

・「高知県教員育成指標」「高知県教育振興基本計画」など高知県の教育に関する指針や対策を共有したカリキュラムの編成

・高知県の教育にこだわった科目の配置

NEW

共通科目に「高知県の学校教育をめぐる現代的課題」「教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー」を配置

各コースの専門科目に「高知県の地域教育リソース開発」「高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発」「高知県の特別支援教育の実態把握と分析」を配置

・高知県の実態を踏まえて、デジタル教育を開発・実践するための科目の新設

NEW

共通科目「ICTを活用したデジタル教育の理論と実践」  
専門科目「授業におけるICT活用の開発的実践」

### ○高知県教育委員会と連携した専攻運営・指導体制

- ・高知県教育委員会との連携協議会、高知県教育委員会事務局分室の設置による連携体制の強化
- ・高知県教育委員会の実習コーディネーターと連携して行う実習・3年計画での研究の深化

# 令和4年度～高知大学教職大学院のカリキュラムの理念と構成

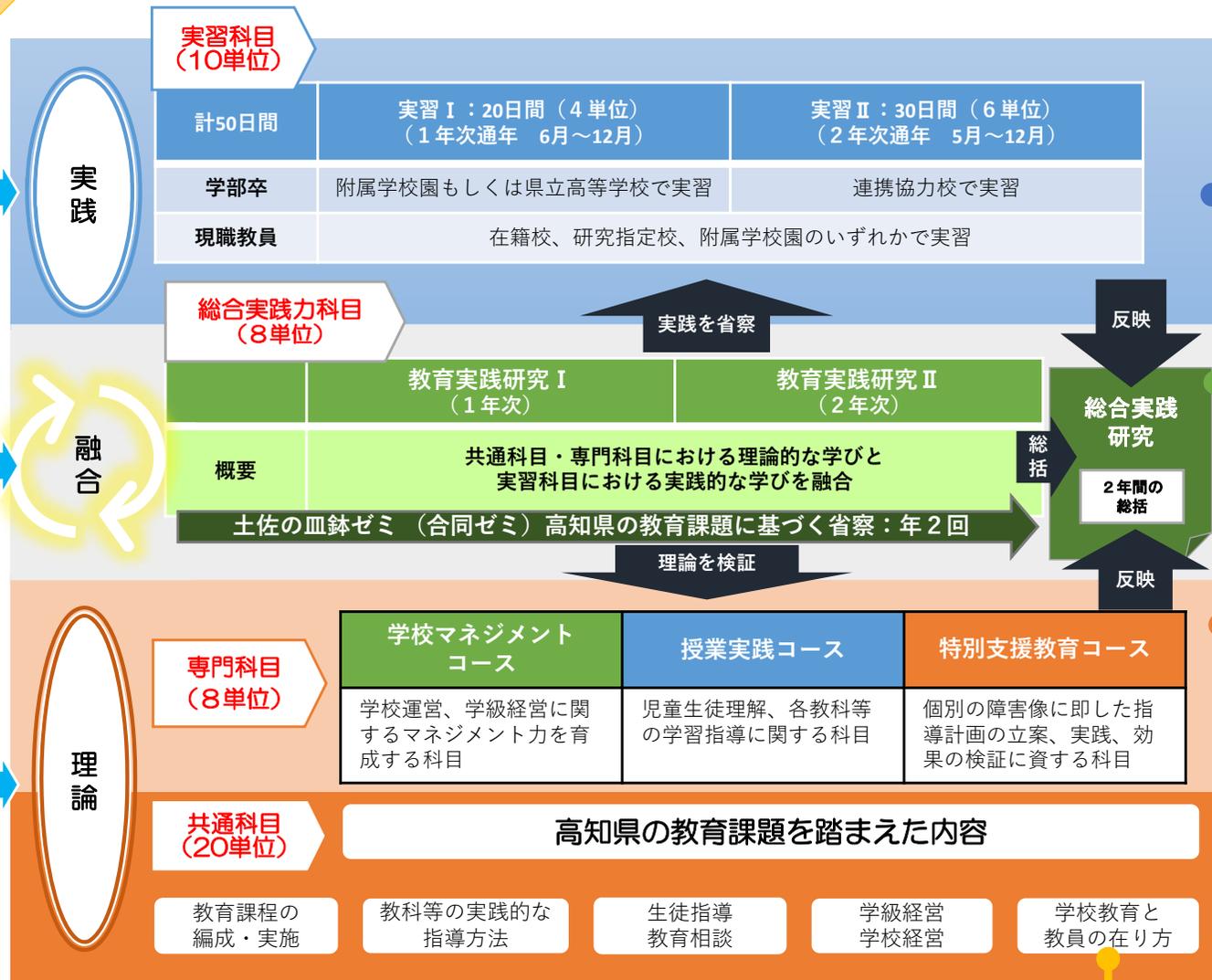
## 理念

- 理論と実践の融合（教育/教育実践を科学する）
- 高知県の教育課題解決に資する学び

## 構成

新設 共通科目「教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー」

令和2年4月より開設済み



## 拡充のPOINT！

- 学卒生の1年次実習先に県立高等学校を加え、全校種対応可能とする。
- 院生1人につき教員2人の指導体制を3人に増やし、研究者教員と実務家教員の連携によって指導の多角的アプローチを充実。
- 「授業実践コース」において新たに教科を取扱うこととし、5教科（国・算・社・理・英）について各4科目を配置。
- 各コースに高知県の教育にこだわった科目を配置。
- 理論と実践の融合を図るための鍵となる科目「教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー」を新設。
- 現代的・地域的課題である科目「ICTを活用したデジタル教育の理論と実践」を新設。

教育実践を科学的に省察できる力を育成

## 第4章 基本方針と喫緊の課題の解決に向けた横断的取組

### 1 概要

第3章の基本理念や基本目標の実現に向けて、これまでの取組の分析結果や社会の動向等を踏まえたうえで、第3期計画において重点的に進めていく必要がある取組について、6つの基本方針に整理するとともに、喫緊の課題の解決に向けて横断的に推進する取組を、2つの横断的取組として再構成し位置付けました。今後、これらの基本方針、横断的取組に沿って施策を推進します。

#### 基本方針 I

#### チーム学校の推進

- I-1 チーム学校の基盤となる組織力の強化
- I-2 チーム学校の推進による教育の質の向上

#### 基本方針 II

#### 厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実

- II-1 多様な課題を抱える子どもへの支援の充実
- II-2 特別支援教育の充実

#### 基本方針 III

#### デジタル社会に向けた教育の推進

- III-1 先端技術の活用による学びの個別最適化
- III-2 創造性を育む教育の充実

#### 基本方針 IV

#### 地域との連携・協働

- IV-1 中山間地域をはじめとする各地域の教育の振興
- IV-2 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

#### 基本方針 V

#### 就学前教育の充実

- V-1 就学前教育・保育の質の向上
- V-2 親育ち支援の充実

#### 基本方針 VI

#### 生涯学び続ける環境づくりと安全・安心な教育基盤の確保

- VI-1 生涯にわたって学び地域社会に生かす環境づくり
- VI-2 文化財の保存・活用
- VI-3 児童生徒等の安全の確保

#### 横断的取組 1 不登校への総合的な対応

#### 横断的取組 2 学校における働き方改革の推進



2高教政第809号  
令和3年2月1日

高知大学

学長 櫻井 克年 様

高知県教育委員会

教育長 伊藤 博明



高知大学教職大学院の拡充に係る要望等について（依頼）

平素より県教育行政にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本県の子どもたちの教育に関する現状としては、全国学力・学習状況調査の結果において、小学校の学力は全国上位に位置し、中学校も全国平均との差を縮めるなど、これまでの取組の成果が表れている一方、小・中学校ともに思考力・判断力・表現力に弱さが見られること、また、不登校の出現率は依然として全国平均より高い状況にあること等、依然として解決すべき多くの教育課題があります。

また、超スマート社会（Society5.0）の実現に向け、プログラミング教育の充実や先端技術の教育への活用など、デジタル社会に対応した教育の推進を図っていくことも重要な課題です。

こうした状況を踏まえ、本年度から新たにスタートした第二期教育大綱及び第三期教育振興基本計画においては、「チーム学校の推進」などこれまで成果をあげてきた取組を一層充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等に取り組むとともに、「デジタル社会に向けた教育の推進」を新たな基本方針として掲げたところです。また、喫緊の課題の解決に向けた横断的取組として「不登校への総合的な対応」と「学校における働き方改革の推進」を位置づけています。

これら大綱及び基本計画に基づく取組を実行し、本県の教育課題を解決していくためには、学校の教育活動において指導的立場を担い、理論と実践の融合を図って学校教育の課題解決を組織的にリードできる中核教員を育成することが極めて重要であると考えています。また、教員の大量退職・大量採用の時代を迎え、若年教員の割合が高まっている本県の状況においては、中核教員を中心として、教員全体の資質能力の向上を図っていくことが喫緊の課題と考えています。

以上のことを踏まえ、県教育委員会としましては、貴学教職大学院に対し、下記のとおり具体的な教育内容や運営、現職教員の派遣等に関する要望をいたします。

貴学におかれましては、現在、検討を進められている教職大学院の拡充に際して、下記のことにご留意いただきますようお願いいたします。

## 1 育成すべき人材像

上に示した本県の教育課題の解決に資するため、教育基本法、学校教育法、学習指導要領等の趣旨を踏まえた資質能力の向上とともに、以下に掲げる人材の育成が図られることを望む。

- ・ 学校教育に関わる理論と実践の融合によって、学校教育が直面する諸課題の構造的・総合的な理解に立って学校運営をマネジメントし、「チーム学校」としての体制づくりについて先導的役割を果たすことのできる教員
- ・ 本県の子どもたちに課題のみられる英語、数学、理科を中心に、国語等の他教科も含め、学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について開発的で組織的な実践を広めていくことのできる中核教員
- ・ 自ら課題を発見し解決する探究型学習の指導に習熟し、開発的で組織的な実践を広めていくことのできる中核教員
- ・ 教科化された道徳についてその趣旨を踏まえた指導に習熟するとともに、地域資源を活かし、郷土への理解を深めるための開発的で組織的な実践を広めていくことのできる中核教員
- ・ タブレット端末等の ICT 機器を活用し、各教科の特性を踏まえた工夫ある授業実践を広めていくことのできる中核教員
- ・ 不登校をはじめとする生徒指導上の諸課題に対応するため、生徒指導に関する理論と実践、発達障害等の多様な特性への理解をもとにした教育活動をマネジメントし、開発的で組織的な実践を広めていくことのできる中核教員
- ・ 特別支援教育について、発達障害等を含む障害種別ごとの専門的知識・指導力を有するとともに、個々の障害特性を踏まえた ICT の活用などに習熟し、学校における支援体制づくりをけん引することのできる中核教員

## 2 派遣予定人数

当該教職大学院への現職教員の派遣については、市町村立学校教員から7名程度、県立学校教員から3名程度、合わせて10名程度を基本としつつ、派遣者数については、本県における教員採用の状況や学校現場における教育課題、派遣研修の成果等を踏まえ、その増減について必要に応じ見直しを図ることとする。

なお、当面の派遣分野の内訳は以下のとおり。

- ・ 学校組織・学級マネジメント分野 2～3名程度
- ・ 生徒指導分野 1名程度
- ・ 教科指導（ICT 活用含む）分野 3名程度
- ・ 道徳教育分野 1名程度
- ・ 特別支援教育分野 2～3名程度

### 3 派遣する教員の年齢層と修了後の活用方策

教職大学院に派遣する教員について、学校組織マネジメント分野について学ぶ者は、実務経験10年以上で、近い将来、管理職等として学校を支え、学校全体の教育力を向上させる役割を担うことが期待される者の派遣を想定し、その他の分野については、実務経験10年未満であっても、修める分野について修了後に、他の教員等をリードする中核的役割を期待できる者の派遣を想定している。

それらの現職教員の教職大学院修了後の活用方策については、各分野の拠点校における中核教員としての配置や、教育委員会事務局又は教育センター等において指導主事としての登用等を想定している。

### 4 派遣研修の成果の普及

修了生の配置先の特性等も踏まえつつ、修了生が研究成果及び派遣後の活動状況等について広く普及する場の設定を検討しており、現在、貴学で取り組まれている土佐の皿鉢ゼミとの連携等、派遣研修の成果の普及について協力を要望する。

### 5 派遣する教員の履修形態

高度専門職業人としての資質・指導力を身につけるためには、高度な理論を学ぶとともに、多くの実践研究を通して集中的に学ぶことが重要であると認識しており、そのような教育の成果を確実にあげるため、引き続き、大学院設置基準第14条の特例を適用せず、2年間の修学に専念させる。

また、派遣研修の効果を高めるため、教職大学院入学前に学校に在籍しながら研究に従事するプレ研修を実施し、引き続き、3年プログラムの研修を継続する。

### 6 教職大学院の指導体制

上記1の育成すべき人材像を踏まえ、これを実現するために充実した教員の配置とともに、貴学教職大学院が掲げる「高知県の教育課題に資する」の理念を十分に踏まえ、各教員が派遣教員への指導にあたられることを要望する。

また、特に、新たな教育大綱及び教育振興基本計画において重要事項として掲げている学力向上、不登校への対応、デジタル社会に向けた教育の推進については、中核となる教員の育成が急務であることから、カリキュラム等の改善を含む指導の充実を望む。

なお、上記5のとおり、引き続き、3年プログラムの研修に取り組むこととしていることから、入学前のプレ研修の段階における貴学からの支援についても、特段の配慮を要望する。

## 7 運営体制

本県の「教員育成指標」に基づく人材育成を着実に進めていくためには、貴学と県教育委員会との連携・協力が必要となることから、引き続き「高知大学教職大学院連携協議会」「高知大学教職大学院実習協議会」を通じて、教職大学院の運営・評価、教育課程、指導体制、実習等について協議を行っていくことを要望する。

また、平成 30 年度より県教育委員会に配置し、研修生への指導助言等を通じて派遣研修の充実に成果を挙げた実習コーディネーターについて、引き続き、配置を予定していることから、当該実習コーディネーターが円滑にその業務を遂行できるよう、特段の配慮を要望する。

## コース別の概要

	学校マネジメントコース	授業実践コース	特別支援教育コース
コースの 特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学部卒生・現職教員が対象</li> <li>■学校の教育活動を効果的にマネジメントして組織改革を実行することができ、また、不登校などの生徒指導上の諸課題にも組織的に対応できる学校・学級経営を推進しリードできる人材を育成するコース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学部卒生・現職教員が対象</li> <li>■教科等の学習指導などの教育実践の高度化を図って全ての子どもたちに質の高い学びを保証することができ、また、授業実践に関する研究を組織しリードできる人材を育成するコース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学部卒生・現職教員が対象</li> <li>■個別の障害像に即した実態把握に基づき個別の指導計画を立案し、それを実践して適切な教育評価により指導の効果を検証することができ、また、特別支援教育に関する組織的な推進体制を構築できる人材を育成するコース</li> </ul>
養成する 人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>■[学部卒院生] 学校や学級の教育マネジメントに関する専門性と実践力を備え、学校組織の中で自己の役割を果たすことができる教員を養成する。</li> <li>■[現職教員院生] 学校や学級の教育マネジメントに関する専門性と実践力を備え、学校の教育活動を計画的・組織的にマネジメントし、組織の改革を推進していくことができる中核的中堅教員を養成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■[学部卒院生] 教育実践に関する専門性と実践力を備え、学習目標の達成に向けた授業実践を行い、学校組織の中で自己の役割を果たすことができる教員を養成する。</li> <li>■[現職教員院生] 教育実践に関する専門性と実践力を備え、「主体的・対話的で深い学び」を実現できる組織的な取組を推進し、学校の教育課題解決のために企画立案・実践することができる中核的中堅教員を養成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■[学部卒院生] 特別支援教育に関する専門性と実践力を備え、特別支援教育の実践を改善し、組織的な推進体制を構築・継続していくことができる教員を養成する。</li> <li>■[現職教員院生] 特別支援教育に関する専門性と実践力を備え、児童生徒が自己実現に向けて成長できる学級集団を経営し、学校の特別支援教育に関する課題解決のために企画立案・実践することができる中核的中堅教員を養成する。</li> </ul>
高知県から 派遣される 人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主幹教諭や管理職への昇任が見込まれる実務経験10年以上の中堅教員</li> <li>・実務経験が10年未満であっても生徒指導分野における中核的役割が期待できる教員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教諭や主幹教諭への昇任が見込まれる実務経験10年以上の中堅教員</li> <li>・実務経験が10年未満であっても修める分野における中核的役割が期待できる教員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に積極的に関わってきた実務経験10年以上の中堅教員</li> <li>・実務経験が10年未満であっても本分野における中核的役割が期待できる教員</li> </ul>
派遣人数 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織・学級マネジメント 2～3名程度</li> <li>・生徒指導 1名程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導 3名程度</li> <li>・道徳教育 1名程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育 2～3名程度</li> </ul>
修了後の 進路・役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>[学部卒院生]</li> <li>・教員となり、学校におけるマネジメント業務改善のボトムアップに寄与するとともに、所属校の若手教員の教育活動等をリードしていく役割を担うなど、初任者段階から将来のリーダーとしての意識を持って教育実践に当たっていく。</li> <li>[現職教員院生]</li> <li>・学校組織マネジメントや学級経営、生徒指導に関する研究を行っている指定校に配置</li> <li>・学修したことを生かして、PDCAサイクルが機能する仕組みを設けるなど学校全体としての組織的な取組をリードして、学校の教育力を向上させていく。</li> <li>・配属校での成果を県内全体に普及していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[学部卒院生]</li> <li>・教員となり、学校における授業改善のボトムアップに寄与するとともに、所属校の若手教員の授業改善等をリードしていく役割を担うなど、初任者段階から将来のリーダーとしての意識を持って教育実践に当たっていく。</li> <li>[現職教員院生]</li> <li>・道徳教育、学習指導の在り方を研究している指定校への配置や指導主事として登用</li> <li>・学修したことを生かして、学校の組織的な授業改善をリードしていく。</li> <li>・県内教員に対して授業改善等のための指導助言を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[学部卒院生]</li> <li>・教員となり、特別支援教育に関する即戦力になるとともに、所属校の若手教員に対して特別支援教育分野に関する助言を行っていくなど、初任者段階から特別支援教育を推進していく中核教員としての意識を持って教育実践に当たっていく。</li> <li>[現職教員院生]</li> <li>・特別支援教育の指定校等への配置や特別支援教育担当指導主事として登用</li> <li>・学修したことを生かして、特別支援教育の実践を改善し、地域の特別支援教育を推進するための中核的な役割を果たしていく。</li> </ul>
取得可能 免許状	幼稚園／小学校／中学校／高等学校／特別支援学校教諭専修免許状		

## 高知県教員育成指標「教諭」

経験段階(教職経験)			新規採用期(0～1年)	若年前期(2～4年)
求められる資質・能力			教員に求められる資質・能力は、教員等の職の専門性及び特殊性から、すべての教員に共通するものであり、かつ、経験年数等により高まりと深まりを示すものである。	
教科指導、生徒指導及び学級経営など、職務遂行に必要な基礎的な知識・技能を理解・習得し、管理職や教職員に報告・連絡・相談しながら、業務に取り組むことができる。			教科指導、生徒指導、学級経営及び校務分掌など、職務遂行に必要な実践的な知識・技能を習得・活用し、より適切な指導力を発揮するとともに、積極的・協働的に業務に取り組むことができる。	
4領域	8能力	項目		
学級・HR経営力	集団を高める力	① 児童生徒との信頼関係の構築	児童生徒との関わり方を理解し、愛情をもって公平かつ受容的に関わることができる。	児童生徒との関わり的重要性を認識し、積極的かつ共感的にコミュニケーションを図ることができる。
		② 児童生徒間の人間関係の構築	児童生徒の人権を尊重し、児童生徒間のコミュニケーションを促進することができる。	児童生徒の自己肯定感を高め、相互に認め合い、高め合う集団づくりに取り組むことができる。
	一人一人の能力を高める力	③ 児童生徒理解	児童生徒理解の意義や重要性を理解し、児童生徒一人一人に積極的に向き合うことができる。	児童生徒を取り巻く環境を理解し、カウンセリング・マインドをもって、児童生徒一人一人に適切に向き合うことができる。
		④ 生徒指導上の諸課題への対応	不登校・問題行動等の現状や初期対応の重要性を認識し、報告、相談しながら、速やかに対応することができる。	校内組織や保護者・関係機関等と連携し、個や集団に応じた適切な指導・支援を行うことができる。
		⑤ 特別な配慮を要する児童生徒への対応	保護者等との信頼関係を構築するとともに、児童生徒一人一人の実態を把握し、対応に生かすことができる。	校内組織や保護者・関係機関等と連携し、個や集団に応じた適切な指導・支援を行うことができる。
学習指導力	授業実践・改善力	⑥ 授業構想	学習指導要領を理解し、単元(題材)や1単位時間のねらいを明確にした指導計画を立てることができる。	学習指導要領や児童生徒の実態を踏まえるとともに、教材の価値を捉え、ねらいを明確にした指導計画を立てることができる。
		⑦ 指導技術の工夫	発問や板書等の基本的な指導技術を身に付け、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業の実践に努めることができる。	児童生徒の理解度や反応を把握しながら、「主体的・対話的で深い学び」の授業を実践することができる。
		⑧ 学習評価と改善	学習評価の意義や方法について理解し、児童生徒の学習状況を把握しながら授業を進めることができる。	学習評価を生かした学習指導について理解し、指導方法の工夫・改善に取り組むことができる。
	専門性探究力	⑨ 専門性の追究	学習指導要領を理解するとともに、研修会や書籍等から基礎的な知識・技能を学ぶことができる。	学習指導要領を理解するとともに、研修会や書籍等から積極的に学ぶことができる。
⑩ 研究推進		自校の研究テーマを理解し、テーマに基づいた実践・研究に取り組むことができる。	自校の研究テーマに基づき、実践・研究に意欲的に取り組むことができる。	
チームマネジメント力	協働性・同僚性の構築力	⑪ 保護者・地域・関係機関等との連携・協働	「チーム学校」としての連携の意義や重要性を理解し、協働して教育活動に取り組むことができる。	「チーム学校」として積極的に連携を図り、協働して教育活動に取り組むことができる。
		⑫ 教職員間の連携・協働	「報告・連絡・相談」や「連携・協働」の意義を理解し、管理職や教職員の助言を生かしながら、業務に取り組むことができる。	組織の一員としての自己の役割を理解し、課題解決に向けて、教職員と連携・協働して業務に取り組むことができる。
	組織貢献力	⑬ 学校組織の理解・運営	組織の特性や運営体制を理解し、職務に忠実に励むことができる。	組織の一員としての自己の役割を理解し、組織運営に積極的に参加することができる。
		⑭ 人材育成	学び続ける教員としての意識をもち、学校内外の研修や自己啓発活動に意欲的に取り組むことができる。	自らの課題を見出し、先輩教職員の助言を参考に、その改善に向け、意欲的に取り組むことができる。
		⑮ 危機管理・安全管理	学校安全に関する基礎的な知識を身に付け、危機を察知し、迅速かつ適切に対応することができる。	危機管理の重要性や自身の役割を理解し、児童生徒の安全管理のために迅速かつ適切に対応することができる。
セルフマネジメント力	自己管理能力	⑯ 法令遵守	社会人としての一般常識を身に付けるとともに、法令遵守の意義や重要性を理解することができる。	教育公務員として、県や市町村の教育行政方針を理解し、法令遵守のもと、日常の職務を誠実かつ公正に遂行することができる。
		⑰ 倫理観・社会性	倫理観や社会性を身に付け、職務を遂行することができる。	倫理観や規律の遵守について高い規範意識をもち、職務を遂行することができる。
		⑱ 郷土愛	高知県の風土や歴史に興味・関心や愛着をもち、教育活動に取り組むことができる。	高知県の風土や歴史を知り、児童生徒の郷土愛を育成する教育活動を展開することができる。
		⑲ 心身の健康	健康的な生活習慣のもと、悩みや不安を一人で抱え込まずに速やかに管理職や教職員等に相談するなどして、働き方や心身の健康に留意し、明日の活力につなぐことができる。	
	自己変革力	⑳ 使命感・責任感	教育公務員としての職責を理解し、公正な判断や行動をすることができる。	教育公務員としての自覚をもち、教育的視点に立った公正な判断や行動をすることができる。
		㉑ 自己啓発	常に自己研鑽に努め、管理職や教職員の助言を謙虚に受け止め、自己の成長につなぐことができる。	自らの実践を振り返り、管理職や教職員の助言を受けながら自己の成長に努めることができる。

若年後期(5～9年)	中堅期(10年～)	発展期(20年～)
<p>教員に求められる資質・能力は、教員等の職の専門性及び特殊性から、すべての教員に共通するものであり、かつ、経験年数等により高まりと深まりを示すものである。</p>		
職務遂行に必要な実践的・専門的な知識・技能を習得・活用するとともに、学年や校務分掌等における自己の役割を自覚し、若年教員への助言を意識して、業務に取り組むことができる。	職務遂行に必要なより実践的・専門的な知識・技能を習得・活用するとともに、学年や校務分掌等において中心的役割を担うなど、モデルリーダーとしての実践的指導力を発揮して、業務に取り組むことができる。	職務遂行に必要な高度な知識・技能を習得・活用するとともに、研究体制及び支援体制等の組織運営や、教職員への適切な指導・助言を行うなど、全校的視野に立った実践的指導力を発揮して、業務に取り組むことができる。
児童生徒の実態等を多面的・多角的に理解し、指導・支援に適切に生かすことができる。	教育相談等の手法等を効果的に活用し、場面や状況に応じた適切な対応を行うとともに、教職員に対して指導・助言をすることができる。	児童生徒の実態に応じた適切な対応について、組織的に推進することができる。
児童生徒の実態を把握し、相互に認め合い、高め合うための具体的な取組を提案し、協働して進めることができる。	児童生徒の実態を把握し、相互に認め合い、高め合う取組を計画的に進めることができる。	児童生徒の実態を把握し、相互に認め合い、高め合う取組を組織的に推進することができる。
児童生徒を取り巻く環境を理解し、カウンセリング・マインドをもって、児童生徒一人一人に適切に向き合うことができる。	児童生徒を取り巻く環境を理解し、適切な指導方針を立てることができる。	児童生徒を取り巻く環境を理解し、教職員相互の共通理解を図るなど、組織的に対応することができる。
校内組織や保護者・関係機関等と連携し、個や集団に応じた適切な指導・支援を行うことができる。	関係機関等と連携した個や集団に応じた指導・支援の在り方について、具体的に提案することができる。	校長等の指示を受け、関係機関等との連携体制や校内支援体制を整備し、その運営に取り組むことができる。
校内組織や保護者・関係機関等と連携し、個や集団に応じた適切な指導・支援を行うことができる。	関係機関等と連携した個や集団に応じた指導・支援の在り方について、具体的に提案することができる。	校長等の指示を受け、関係機関等との連携体制や校内支援体制を整備し、その運営に取り組むことができる。
学習指導要領や児童生徒の実態を踏まえるとともに、学習の系統性を明確にした指導計画を立てることができる。	教科等横断的な授業構想等、カリキュラム・マネジメントの視点に立った指導計画を立てるとともに、教員に対して指導・助言をすることができる。	
児童生徒の実態や授業の展開に応じた適切な手立てを講じながら、「主体的・対話的で深い学び」の授業を実践することができる。	教科の専門性を生かすとともに、教科等横断的な視点から教員の授業を評価し、指導・助言をすることができる。	
適切な学習評価を行い、指導方法の工夫・改善に生かすことができる。	適切な学習評価や授業改善を実施するとともに、教員に対して指導・助言をすることができる。	学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、学校全体での取組を推進することができる。
今日的な教育の動向を把握し、求められる専門性を追究することができる。	今日的な教育の動向を把握し、求められる専門性をさらに高めるとともに、教員に対して指導・助言をすることができる。	
研修会等で得た情報を校内で発信し、課題改善に向けた具体的な提案をすることができる。	校内研究の企画・運営の中心的な役割を担い、学校全体の研究を推進することができる。	教員の経験や個性を考慮しながら指導・助言をし、学校全体の研究を推進することができる。
「チーム学校」として積極的に連携を図り、協働して教育活動に取り組むことができる。	「チーム学校」としての連携を深め、地域とともに歩む学校づくりを積極的に推進することができる。	
学年や分掌等における自己の役割を自覚し、課題解決に向けて、チームで対応することを意識して業務に取り組むことができる。	学年や分掌等の要となり、チーム対応等の充実に向けてリーダーシップを発揮することができる。	
組織の特性や教職員の立場を理解し、組織運営を計画的に進めることができる。	組織の特性や教職員の強み・弱みを見取り、それらを生かした機能的な組織運営に取り組むことができる。	
教職員の教育実践について、学び合う意識をもって評価し、後輩教職員に対して、必要に応じて適切な助言をすることができる。	自校の諸課題について、具体的な対応策を提案するとともに、教職員に対して適切な指導・助言をすることができる。	
安全対策等の手法を身に付け、場面や状況に応じて、迅速かつ適切に対応することができる。	安全や教育効果に配慮した環境を整備するとともに、危機の早期発見、早期対応に向け、適切な対応策を講じることができる。	危機の早期発見、早期対応に率先して取り組むとともに、学校における危機管理体制を点検し、改善につなぐことができる。
教育公務員として、県や市町村の教育行政方針を理解し、法令遵守のもと、日常の職務を誠実かつ公正に遂行することができる。	常に法令遵守を意識し、その重要性を教職員に助言をすることができる。	
倫理観や規律の遵守について高い規範意識をもち、職務を遂行することができる。	倫理観や規律の遵守について高い規範意識をもって職務を遂行するとともに、教職員に助言をすることができる。	
高知県の風土や歴史を知り、児童生徒の郷土愛を育成する教育活動を展開することができる。	高知県の風土や歴史について理解を深め、高知県の文化、伝統等の発展に貢献することができる。	
健康的な生活習慣のもと、悩みや不安を一人で抱え込まずに速やかに管理職や教職員等に相談するなどして、働き方や心身の健康に留意し、明日の活力につなぐことができる。		
教育公務員としての自覚をもち、教育的視点に立った公正な判断や行動をすることができる。	教育公務員としての誇りと自覚を深め、学校教育目標の実現や課題解決に向けて、主体的に学校運営に関わることができる。	
自らの実践を振り返り、管理職や教職員の助言を受けながら自己の成長に努めることができる。	自ら学び続ける意欲をもち、課題意識や探究心をもって研鑽を積み、自己を高めることができる。	

## 高知県教員育成指標 管理職等 「校長」「副校長・教頭」「主幹教諭」「指導教諭」

		校長	副校長・教頭	
求められる 資質・能力		トップリーダーとしての人間の魅力、教育に関するビジョン、強い使命感、時代をみる先見性、課題発見能力、変革に挑む積極性、危機管理のできる判断力や行動力、経験に裏打ちされた見識等、管理職としての資質・指導力を発揮し、人材を育成することができる。	人間の魅力をもったリーダー性、教育に関するビジョン、強い使命感、時代をみる先見性、課題発見能力、変革に挑む積極性、危機管理のできる判断力や行動力、経験に裏打ちされた見識等、管理職としての資質・指導力を発揮することができる。	
	資質	①	教育に関する確固とした理念や価値観をもっている。	① 教育に関する確固とした理念や価値観をもっている。
②		学校経営責任者としての自覚と教育に対する使命感をもって、責任を果たすことができる。	② 校長を補佐し、学校経営をする者としての自覚と使命感をもって責任を果たすことができる。	
③		教育の動向や新しい教育に対する考え方を吸収し、学校経営に活用することができる。	③ 教育の動向や新しい教育に対する考え方を吸収し、学校運営に活用することができる。	
④		児童生徒・保護者・教職員に対して、公平・公正な立場で、誠実に対応することができる。	④ 児童生徒・保護者・教職員に対して、公平・公正な立場で、誠実に対応することができる。	
⑤		教職員・保護者・地域の人々から信頼を得ることができる。	⑤ 教職員・保護者・地域の人々から信頼を得ることができる。	
マネジメント	組織 マネジメント	⑥	⑥ 明確な学校経営ビジョンを策定し、教育課題に取り組むためにチームとして機能する組織づくりをすることができる。	⑥ 学校経営ビジョンを作成・実施するために、学年や分掌等の活動を点検・改善することができる。
		⑦	⑦ 学校経営ビジョンの実現に向け、経営戦略を構築し、実行することができる。	⑦ 学校経営ビジョンの実現に向け、校長等と教職員との意思疎通を図り、取組を進めることができる。
		⑧	⑧ 学校評価を行うとともに、PDCAの考え方にに基づき、教育活動の改善に結びつけることができる。	⑧ 学校評価を行うとともに、PDCAの考え方にに基づき、自校での取組の進捗管理をすることができる。
	カリキュラム・ マネジメント	⑨	⑨ 教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ることができる。	⑨ 教科等横断的な視点で、教育活動を推進できるよう教職員間の調整を行うことができる。
		⑩	⑩ 児童生徒の姿や地域の現状等に基づき、教育課程のPDCAサイクルを確立し、機能させることができる。	⑩ 教育内容の質の向上に向けて、児童生徒の姿や地域の現状等に関連の調査や各種データ等に基づき把握することができる。
		⑪	⑪ 自校の教育内容と、教育活動に必要な地域等の外部資源を活用する体制を整えることができる。	⑪ 自校のビジョンに即した校内研修(研究)を主幹教諭等とともに推進することができる。
	リスク マネジメント	⑫	⑫ 児童生徒・教職員の健康・安全管理を適切に行うことができる。	⑫ 児童生徒・教職員の健康・安全管理を適切に行うことができる。
		⑬	⑬ 突発的な事態や災害時に迅速かつ的確な判断や指示をすることができる。	⑬ 突発的な事態や災害時に校長を補佐し、的確な判断や指示をすることができる。
		⑭	⑭ 学校で生じるであろう種々の危機事象を想定し、それに備える組織づくりをすることができる。	⑭ 学校で生じるであろう種々の危機事象を想定し、それに備える組織づくりを補佐することができる。
		⑮	⑮ 児童生徒の個別の課題に対して校長を補佐し、支援を推進することができる。	⑮ 児童生徒の個別の課題に対して校長を補佐し、支援を推進することができる。
	地域等 マネジメント	⑯	⑯ 校内外の連絡、情報共有体制を整えることができる。	⑯ 校内外の連絡、情報共有体制を活用することができる。
		⑰	⑰ 地域等にある人的・物的資源等を活用し、「チーム学校」を構築することができる。	⑰ 地域等にある人的・物的資源等を活用するためのネットワークをつくることができる。
		⑱	⑱ 地域の人々や関係機関等に積極的に情報発信し、地域と協働した教育活動を推進することができる。	⑱ 地域の人々や関係機関等に積極的に情報発信をすることができる。
	人材 育成	⑲	⑲ 校種間・学校間連携の体制を整えることができる。	⑲ 校種間・学校間連携を図るための連絡調整を行い、運営することができる。
		⑳	⑳ 教職員の育成を図るための校内指導体制を整えることができる。	⑳ 教職員の育成を図るための校内指導体制を運営することができる。
㉑		㉑ 学校の教育活動をより効果的に達成するために教職員を適切に指導することができる。	㉑ 学校の教育活動をより効果的に達成するために教職員に対する適切な指導・助言をすることができる。	
㉒		㉒ 教職員の評価を適切に実施し、フィードバックすることができる。	㉒ 教職員の評価を的確に実施することができる。	
ガバナンス	監督	㉓	㉓ 教職員に対して必要な情報を伝達したり、説明したりすることができる。	㉓ 教職員に対して必要な情報を伝達したり、説明したりすることができる。
		㉔	㉔ 教職員のサービス監督を適切に行うことができる。	㉔ 教職員のサービス監督を適切に行うことができる。
	コンプライアンス	㉕	㉕ 教育の質の向上と教職員の健康増進に向け、業務改善に積極的に取り組むことができる。	㉕ 教育の質の向上と教職員の健康増進に向け、業務改善に積極的に取り組むことができる。
		㉖	㉖ 法令等に基づいた適正な学校経営をすることができる。	㉖ 校長を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営をすることができる。
		㉗	㉗ 県や市町村の教育行政方針を理解し、目標に向けて実践することができる。	㉗ 県や市町村の教育行政方針を理解し、目標に向けた取組の進捗管理をすることができる。
	㉘	㉘ 県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を教職員に説明し、学校経営に生かすことができる。	㉘ 県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。	

主幹教諭	指導教諭
命を受けた校務について、責任をもって取りまとめるとともに、教頭の代理や補佐を行い、調整能力を発揮して組織運営を活性化させることができる。	高い専門性と優れた指導力を身に付け、授業力の向上に向けて、研修・研究等の取組を全校的に推進することができる。
① 教育に関する理念や価値観を醸成する態度がある。	① 教育に関する理念や価値観を醸成する態度がある。
② 命を受けた校務を自覚し、遂行する使命感をもって責任を果たすことができる。	② 教諭等のリーダーとしての自覚と使命感をもっている。
③ 教育に関する新しい動向を吸収することができる。	③ 教育に関する新しい動向を吸収し、教科や授業の専門性の向上に積極的に努めることができる。
④ 児童生徒・保護者・教職員に対して、誠実に対応することができる。	④ 児童生徒・保護者・教職員に対して、誠実に対応することができる。
⑤ 命を受けた校務を推進し、教職員から信頼を得ることができる。	⑤ 授業や学級経営等において教職員の模範となり、信頼を得ることができる。
⑥ 校長等の意向を踏まえ、教職員に対して指導・助言をすることができる。	⑥ 校長等の意向を踏まえ、教職員に対して指導・助言をすることができる。
⑦ 校長等と教職員との意思疎通を図ることができる。	
⑧ PDCAの考え方に基づき職務に取り組むことができるよう、教職員に対して指導・助言をすることができる。	⑦ PDCAの考え方に基づき職務に取り組むことができるよう、教職員に対して指導・助言をすることができる。
⑨ 教科等横断的な視点で、自校の教育活動をとらえることができる。	⑧ 教科等横断的な視点で、自校の教育活動をとらえることができる。
⑩ 児童生徒の姿や地域の現状等を把握するために、関連の調査や各種データを収集することができる。	⑨ 教科等における高い専門性と優れた指導力に基づき、教職員に対して指導・助言をすることができる。
⑪ 校内研修(研究)の運営に、指導・助言をすることができる。	⑩ 授業研究等において先進的な取組を示すことができる。
⑫ 児童生徒の健康・安全管理を適切に行うことができる。	⑪ 児童生徒の健康・安全管理を適切に行うことができる。
⑬ 突発的な事態や災害時に校長等の指示を受け、教職員をまとめることができる。	⑫ 突発的な事態や災害時に、教職員がまとまるように日頃から声かけをしたり、相談相手となったりすることができる。
⑭ 学校で生じるであろう種々の危機事象を想定し、それらに対応できるよう情報収集を行うことができる。	
⑮ 児童生徒の個別の課題に対して校長等を補佐し、支援を推進することができる。	⑬ 児童生徒の個別の課題に応じた支援等を率先して行うことができる。
⑯ 校長等を補佐し、校内外の連絡、情報共有を図ることができる。	
⑰ 地域等にある人的・物的資源等を把握して学校教育の活動とつなぐことができる。	⑭ 保護者や地域の人々に、学校の教育活動を知ってもらうために積極的に働きかけることができる。
⑱ 校種間・学校間連携についての計画を立案することができる。	
⑲ 教職員の育成を図るために校長等を補佐し、校内指導体制を運営することができる。	⑮ 教育活動の改善に向けた校内研修(研究)について、研究主任等と協力して推進することができる。
⑳ 学校の教育活動をより効果的に達成するために教職員に対する適切な指導・助言をすることができる。	⑯ 授業や学級経営に関して、教職員の相談に積極的にのったり指導・助言したりすることができる。
㉑ 教職員同士が学び合う仕組みづくりを行うとともに、指導・助言をすることができる。	⑰ 教科や授業等について、専門的な指導・助言をすることができる。
㉒ 教職員の服務監督を助けることができる。	
㉓ 教育の質の向上と教職員の健康増進に向け、業務改善に積極的に取り組むことができる。	⑱ 教育の質の向上と教職員の健康増進に向け、業務改善に積極的に取り組むことができる。
㉔ 校長等を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営ができるよう、学校の教育活動を調整することができる。	
㉕ 目標に向けた取組の進め方について、教職員に指導・助言をすることができる。	
㉖ 県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。	⑲ 県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。

## 各コース・キャリア別の育成する力の概要【学校マネジメントコース】

①知識・理解・技能 ②思考・判断・表現 ③関心・意欲・態度

	学部卒院生	現職教員院生
養成する人材像	学校や学級の教育マネジメントに関する専門性と実践力を備え、学校組織の中で自己の役割を果たすことができる教員	学校や学級の教育マネジメントに関する専門性と実践力を備え、学校の教育活動を計画的・組織的にマネジメントし、組織の改革を推進していくことができる中核の中堅教員
ディプロマポリシー	①学校や学級の教育マネジメントに関する高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 ②学校や学級をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、学校の教育活動を計画的・組織的にマネジメントすることができる。 ③学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう、学校組織の一員として自己の役割を果たすことができる。	①学校や学級の教育マネジメントに関する高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 ②学校や学級をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、リーダーとして学校の教育活動を計画的・組織的にマネジメントすることができる。 ③高度な専門的知識と教育実践力を持った専門的職業人として、学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう組織の改革を推進していくことができる。
組織マネジメント力	PDCAの考え方に基づき職務に取り組むとともに、学校のデジタル化や業務の効率化などの取組を推進することができる。  ①PDCAの考え方を理解している。 ②PDCAに基づき、組織マネジメントのあり方について考えることができる。 ③学校のデジタル化や業務の効率化などの取組を推進しようとする意欲を持っている。	PDCAの考え方に基づき職務に取り組むとともに、学校のデジタル化や業務の効率化などの取組を組織的に推進することができる。  ①PDCAの考え方を理解している。 ②PDCAの考え方に基づき、組織マネジメントに取り組んでいくことができる。 ③学校のデジタル化や業務の効率化などの取組を組織的に推進しようとする意欲を持っている。
カリキュラムマネジメント力	児童生徒や地域の実態を把握し、ICT環境等の資源も活用しながら教科等横断的な視点で教育活動を実施していくことができる。  ①教科等横断的な視点での教育活動について理解している。 ②児童生徒や地域の実態に応じたカリキュラムマネジメントのあり方を考えることができる。 ③ICT環境等の資源も活用しながら教科等横断的な視点で教育活動を実施しようとする意欲を持っている。	児童生徒や地域の実態を踏まえ、教育課程を編制し、ICT環境等の資源も活用しながら教科等横断的な視点で計画的・組織的に教育活動を実施していくことができる。  ①教科等横断的な視点での教育活動について理解している。 ②児童生徒や地域の実態を踏まえ、教育課程を編制し、カリキュラムマネジメントに取り組んでいくことができる。 ③ICT環境等の資源も活用しながら教科等横断的な視点で計画的・組織的に教育活動を実施しようとする意欲を持っている。
リスクマネジメント力	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりすることができる。  ①危険やいじめなどの防止、対処方法について理解している。 ②危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりするためのリスクマネジメントについて考えることができる。 ③危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりしようとする意欲を持っている。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに適切かつ迅速に対処したりすることができる。  ①危険やいじめなどの防止、対処方法について理解している。 ②危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりするためのリスクマネジメントに取り組んでいくことができる。 ③危険やいじめなどを防止したり、それらに適切かつ迅速に対処したりしようとする意欲を持っている。
地域等マネジメント力	地域等にある人的・物的資源等を把握して、学校間連携や地域と連携した教育活動に貢献することができる。  ①学校間連携や地域と連携した教育活動のあり方について理解している。 ②地域等にある人的・物的資源等を把握して、地域等マネジメントのあり方について考えることができる。 ③学校間連携や地域と連携した教育活動に貢献しようとする意欲を持っている。	学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう、学校間連携や地域と連携した教育活動を推進していくことができる。  ①学校間連携や地域と連携した教育活動のあり方について理解している。 ②学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう、地域等マネジメントに取り組むことができる。 ③学校間連携や地域と連携した教育活動を推進しようとする意欲を持っている。
人材育成力	学校の教育活動をより効果的に展開するために、教職員同士が学び合う仕組みづくりに貢献することができる。  ①教職員同士が学び合う仕組みづくりについて理解している。 ②学校の教育活動をより効果的に展開するための人材育成のあり方について考えることができる。 ③学校の教育活動をより効果的に展開しようとする意欲を持っている。	学校の教育活動をより効果的に展開するために、教職員に対して適切な指導・助言を行ったり、教職員同士が学び合う仕組みづくりを行ったりすることができる。  ①教職員同士が学び合う仕組みづくりについて理解している。 ②学校の教育活動をより効果的に展開するために、教職員に対して適切な指導・助言を行ったりして人材育成に取り組むことができる。 ③学校の教育活動をより効果的に展開するために、教職員に対して適切な指導・助言を行おうとする意欲を持っている。
ガバナンス力	教員を志す者としての自覚を持ち、自己の成長に努めるとともに、教育の質の向上と教職員の健康増進に向け、業務改善に取り組むことができる。  ①教育の質の向上と教職員の健康増進に向けた業務改善について理解している。 ②業務改善のためのガバナンスのあり方について考えることができる。 ③教員を志す者としての自覚を持ち、自己の成長に努めようとする意欲を持っている。	教育の質の向上と教職員の健康増進に向け、業務改善に取り組むとともに、法令や行政方針に則って適正な学校経営に取り組むことができる。  ①教育の質の向上と教職員の健康増進に向けた業務改善について理解している。 ②業務改善や適正な学校経営のためのガバナンスに取り組むことができる。 ③業務改善や適正な学校経営を行っていくようとする意欲を持っている。
学級・HR経営力	児童生徒一人一人の特性を把握し、よりよい人間関係を築いて学級を経営していくことができる。  ①よりよい人間関係を築く学級経営について理解している。 ②児童生徒一人一人の特性を把握した学級経営のあり方について考えることができる。 ③よりよい人間関係を築いて学級を経営していくようとする意欲を持っている。	児童生徒一人一人の特性に応じて能力を高め、自己実現に向かって成長していくことができるよう学級を経営していくことができる。  ①よりよい人間関係を築く学級経営について理解している。 ②児童生徒一人一人の特性に応じて能力を高め、自己実現に向かって成長していくことができるよう学級経営に取り組んでいくことができる。 ③自己実現に向かって成長していくことができるよう学級を経営していくようとする意欲を持っている。

## 各コース・キャリア別の育成する力の概要【授業実践コース】

①知識・理解・技能 ②思考・判断・表現 ③関心・意欲・態度

	学部卒院生	現職教員院生
<b>養成する人材像</b>	教育実践に関する専門性と実践力を備え、学習目標の達成に向けた授業実践を行い、学校組織の中で自己の役割を果たすことができる教員	教育実践に関する専門性と実践力を備え、「主体的・対話的で深い学び」を実現できる組織的な取組を推進し、学校の教育課題解決のために企画立案・実践することができる中核的中堅教員
<b>ディプロマポリシー</b>	①授業実践に関する高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 ②児童生徒理解や学習指導について幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。 ③教育実践に関する多様な社会的ニーズと研究課題を明確に意識し、学校組織の一員として自己の役割を果たすことができる。	①授業実践に関する高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 ②児童生徒理解や学習指導について幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、学習目標の達成に向けて開発的な授業実践を行うことができる。 ③教育実践に関する多様な社会的ニーズと研究課題を明確に意識し、学校の教育課題を解決するために、学習指導に関する方策を企画立案し、実行することができる。
<b>児童生徒理解力</b>	児童生徒一人一人の特性を把握し、その特性を踏まえた指導・支援を行うことができる。 ①児童生徒一人一人の特性を踏まえた指導・支援のあり方について理解している。 ②児童生徒一人一人の特性を把握し、理解する方法について考えることができる。 ③児童生徒一人一人の特性を踏まえた指導・支援を行おうとする意欲を持っている。	児童生徒一人一人の特性に応じて能力を高めていくことができるよう、指導・支援の工夫を行って組織的に対応することができる。 ①児童生徒一人一人の特性を踏まえた指導・支援のあり方について理解している。 ②児童生徒一人一人の特性に応じて能力を高めていくことができるよう、児童生徒理解に取り組むことができる。 ③児童生徒一人一人の特性に応じて指導・支援の工夫を行って組織的に対応していこうとする意欲を持っている。
<b>学習指導力</b>	教育方法に関する専門性を養い、ICT活用も含めて指導方法を工夫しつつ学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。 ①教育方法に関する専門的事項について理解している。 ②ICT活用も含め、指導方法の工夫について考えることができる。 ③学習目標の達成に向けた授業実践を行おうとする意欲を持っている。	教育方法に関する専門性を高め、ICT活用も含めて指導方法を工夫・開発しつつ学習目標の達成に向けた授業改善を続けていくことができる。 ①教育方法に関する専門的事項について理解している。 ②ICT活用も含め、指導方法の工夫・開発に取り組むことができる。 ③学習目標の達成に向けた授業改善を続けていこうとする意欲を持っている。
<b>チームマネジメント力</b>	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合って教育実践の向上につなげていくことができる。 ①教職員同士互いに学び合って教育実践の向上につなげていく方法について理解している。 ②教育実践の向上を図るチームマネジメントのあり方について考えることができる。 ③学校組織の一員として、自己の役割を果たしていこうとする意欲を持っている。	学校組織の一員として、人材育成に努めながら自己の役割を果たし、互いに学び合って教育実践力の向上につなげていくことができる。 ①教職員同士互いに学び合って教育実践の向上につなげていく方法について理解している。 ②教育実践の向上を図るチームマネジメントに取り組むことができる。 ③学校組織の一員として、人材育成に努めながら自己の役割を果たしていこうとする意欲を持っている。
<b>セルフマネジメント力</b>	教員を志す者としての自覚を持ち、自己の成長に努めていくことができる。 ①教員としての資質・能力の向上の重要性やその方法を理解している。 ②自己の成長につながるセルフマネジメントのあり方について考えることができる。 ③教員を志す者としての自覚を持ち、自己の成長に努めていこうとする意欲を持っている。	自ら学び続ける意欲をもち、課題意識や探究心をもって研鑽を積み、自己を高めることができる。 ①教員としての資質・能力の向上の重要性やその方法を理解している。 ②自己を高めていくセルフマネジメントに取り組むことができる。 ③自ら学び続ける意欲をもち、課題意識や探究心をもって研鑽を積み、いこうとする意欲を持っている。

## 各コース・キャリア別の育成する力の概要【特別支援教育コース】

①知識・理解・技能 ②思考・判断・表現 ③関心・意欲・態度

	学部卒院生	現職教員院生
養成する人材像	特別支援教育に関する専門性と実践力を備え、特別支援教育の実践を改善し、組織的な推進体制を構築・継続していくことができる教員	特別支援教育に関する専門性と実践力を備え、児童生徒が自己実現に向けて成長できる学級集団を運営し、学校の特別支援教育に関する課題解決のために企画立案・実践することができる中核的中堅教員
ディプロマポリシー	①特別支援教育に関する最新の知見に基づく高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 ②障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法に関する高度な専門性を持ち、指導方法を工夫しつつ学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。 ③学校組織の一員として自己の役割を果たし、特別支援教育の実践を改善し、児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じた対応をしていくことができる。	①特別支援教育に関する最新の知見に基づく高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 ②障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法に関する高度な専門性を持ち、組織的・計画的に特別支援教育体制を改善し続けることができる。 ③学校組織の一員として自己の役割を果たし、特別支援教育の実践を改善し、組織的な推進体制を構築・継続していくことができる。
児童生徒理解力	児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握し、その特性を踏まえた指導・支援を行うことができる。 ①児童生徒一人一人の特性や障害の状況を踏まえた指導・支援のあり方について理解している。 ②児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握し、理解する方法について考えることができる。 ③児童生徒一人一人の特性や障害の状況を踏まえた指導・支援を行おうとする意欲を持っている。	児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じて能力を高めていくことができるよう、指導・支援の工夫を行って組織的に対応することができる。 ①児童生徒一人一人の特性や障害の状況を踏まえた指導・支援のあり方について理解している。 ②児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じて能力を高めていくことができるよう、児童生徒理解に取り組むことができる。 ③児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じて指導・支援の工夫を行って組織的に対応していこうとする意欲を持っている。
学習指導力	特別支援教育に関する専門性を養い、ICT活用も含めて指導方法を工夫しつつ学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。 ①特別支援教育に関する専門的事項について理解している。 ②ICT活用も含め、指導方法の工夫について考えることができる。 ③学習目標の達成に向けた授業実践を行おうとする意欲を持っている。	特別支援教育に関する専門性を高め、ICT活用も含めて指導方法を工夫・開発しつつ学習目標の達成に向けた授業改善を続けていくことができる。 ①特別支援教育に関する専門的事項について理解している。 ②ICT活用も含め、指導方法の工夫・開発に取り組むことができる。 ③学習目標の達成に向けた授業改善を続けていこうとする意欲を持っている。
チームマネジメント力	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合って特別支援教育の向上につなげていくことができる。 ①教職員同士互いに学び合って特別支援教育の向上につなげていく方法について理解している。 ②特別支援教育の向上を図るチームマネジメントのあり方について考えることができる。 ③学校組織の一員として、自己の役割を果たしていこうとする意欲を持っている。	学校組織の一員として、人材育成に努めながら自己の役割を果たし、互いに学び合って特別支援教育に関する実践力の向上につなげていくことができる。 ①教職員同士互いに学び合って特別支援教育の向上につなげていく方法について理解している。 ②特別支援教育の向上を図るチームマネジメントに取り組むことができる。 ③学校組織の一員として、人材育成に努めながら自己の役割を果たしていこうとする意欲を持っている。
セルフマネジメント力	教員を志す者としての自覚を持ち、自己の成長に努めていくことができる。 ①教員としての資質・能力の向上の重要性やその方法を理解している。 ②自己の成長につながるセルフマネジメントのあり方について考えることができる。 ③教員を志す者としての自覚を持ち、自己の成長に努めていこうとする意欲を持っている。	自ら学び続ける意欲をもち、課題意識や探究心をもって研鑽を積み、自己を高めることができる。 ①教員としての資質・能力の向上の重要性やその方法を理解している。 ②自己を高めていくセルフマネジメントに取り組むことができる。 ③自ら学び続ける意欲をもち、課題意識や探究心をもって研鑽を積んでいこうとする意欲を持っている。

学校マネジメントコース【学部卒院生】のカリキュラムと育成する力

修了時の力	<p>(知識・理解・技能) 学校や学級の教育マネジメントに関する高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 (思考・判断・表現) 学校や学級をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、学校の教育活動を計画的・組織的にマネジメントすることができる。 (関心・意欲・態度) 学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう、学校組織の一員として自己の役割を果たすことができる。</p>							
	PDCAの考え方に基づき職務に取り組むとともに、学校のデジタル化や業務の効率化などの取組を推進することができる。	児童生徒や地域の実態を把握し、ICT環境等の資源も活用しながら教科等横断的な視点で教育活動を実施していくことができる。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりすることができる。	地域等にある人的・物的資源等を把握して、学校間連携や地域と連携した教育活動に貢献することができる。	学校の教育活動をより効果的に展開するために、教職員同士が学び合う仕組みづくりに貢献することができる。	教員を志す者としての自覚を持ち、自己の成長に努めるとともに、教育の質の向上と教職員の健康増進に向け、業務改善に取り組むことができる。	児童生徒一人一人の特性を把握し、よりよい人間関係を築いて学級を運営していくことができる。	
	組織マネジメント力	カリキュラムマネジメント力	リスクマネジメント力	地域等マネジメント力	人材育成力	ガバナンス力	学級・HR経営力	
2年	総合実践研究（学校マネジメント）							
	学校マネジメント実習Ⅱ（学部卒用）							
	教育実践研究Ⅱ（学校マネジメント）							
	第2学期	学校組織開発演習					学校組織開発演習	
	第1学期				高知県の地域教育リソース開発			
				組織的な生徒指導と人権教育				組織的な生徒指導と人権教育
				教育相談の理論と実践				教育相談の理論と実践
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践						
	2年	学校マネジメント実習Ⅰ（学部卒用）						
		教育実践研究Ⅰ（学校マネジメント）						
第2学期		学校組織開発のための学校評価						
				学校に求められるリスクマネジメント				
			保幼小中高の連携によるキャリア発達					
					高知県の学校教育をめぐる現代的課題			
			開かれた教育課程の開発と実践					学級経営の理論と実践
第1学期								学級経営の理論と実践
		学校組織開発の理論と実践					学校管理職の役割と実践	
					教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー			
	学校組織マネジメントの理論と実践							
				変動する社会と生徒指導の理論と実践				変動する社会と生徒指導の理論と実践
		アクティブラーニングの理論と実践						
		ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践						
入学時の力	<p>(知識・理解・技能) 学校教育に関する一定の理解と、教育実践に必要なとされる幅広い教養や教育に関する総合的な事項を理解するために必要となる知識・技能を備える。学校や地域の教育課題を理解する能力を備える。 (思考・判断・表現) 学校や地域の教育課題を理解したうえで、その解決を思考する能力を備える。教育実践や教育活動が組織的に運営されることを理論的に検討する能力を備える。学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を備える。学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現し伝達する能力を備える。 (関心・意欲・態度) 教職への強い情熱を持ち、複雑化・多様化する教育課題に対して深い関心を持っている。学級経営や学習指導に関する実践的指導力を発揮しようとし、将来学校のリーダーとしての役割を果たそうとする意欲を持っている。主体的に課題を探究する態度を備える。課題について多様な考え方を適用する態度を備える。様々な人々と協働して課題を解決する態度を備える。</p>							

専門科目	学校マネジメントコース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修
共通科目	必修	実習科目	必修

学校マネジメントコース【現職教員院生】のカリキュラムと育成する力

修了時の力	(知識・理解・技能) 学校や学級の教育マネジメントに関する高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 (思考・判断・表現) 学校や学級をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、リーダーとして学校の教育活動を計画的・組織的にマネジメントすることができる。 (関心・意欲・態度) 高度な専門的知識と教育実践力を持った専門的職業人として、学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう組織の改革を推進していくことができる。							
	PDCAの考え方に基づき職務に取り組むとともに、学校のデジタル化や業務の効率化などの取組を組織的に推進することができる。	児童生徒や地域の実態を踏まえ、教育課程を編制し、ICT環境等の資源も活用しながら教科等横断的な視点で計画的・組織的に教育活動を実施していくことができる。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに適切かつ迅速に対処したりすることができる。	学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう、学校間連携や地域と連携した教育活動を推進していくことができる。	学校の教育活動をより効果的に展開するために、教職員に対して適切な指導・助言を行ったり、教職員同士が学び合う仕組みづくりを行ったりすることができる。	教育の質の向上と教職員の健康増進に向け、業務改善に取り組むとともに、法令や行政方針に則って適正な学校経営に取り組むことができる。	児童生徒一人一人の特性に応じて能力を高め、自己実現に向かって成長していくことができるよう学級を運営していくことができる。	
	組織マネジメント力	カリキュラムマネジメント力	リスクマネジメント力	地域等マネジメント力	人材育成力	ガバナンス力	学級・HR経営力	
2年	総合実践研究（学校マネジメント）							
	学校マネジメント実習Ⅱ（現職教員用）							
	教育実践研究Ⅱ（学校マネジメント）							
	第2学期	学校組織開発演習					学校組織開発演習	
	第1学期				高知県の地域教育リソース開発			
				組織的な生徒指導と人権教育				組織的な生徒指導と人権教育
				教育相談の理論と実践				教育相談の理論と実践
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践						
	2年	学校マネジメント実習Ⅰ（現職教員用）						
		教育実践研究Ⅰ（学校マネジメント）						
第2学期		学校組織開発のための学校評価						
				学校に求められるリスクマネジメント				
			保幼小中高の連携によるキャリア発達					
					高知県の学校教育をめぐる現代的課題			
								学級経営の理論と実践
			開かれた教育課程の開発と実践					
第1学期								学級経営の開発的実践
		学校組織開発の理論と実践					学校管理職の役割と実践	
					教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー			
	学校組織マネジメントの理論と実践							
			変動する社会と生徒指導の理論と実践					変動する社会と生徒指導の理論と実践
	アクティブラーニングの理論と実践							
		ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践						
入学時の力	(知識・理解・技能) 高度な教育実践に必要なとされる幅広い教養や教育に関する専門的総合的な知識を理解するために必要となる教育・教育実践に関する知識・技能を備える。学校や地域の教育課題を十分に理解する能力を備える。 (思考・判断・表現) 学校や地域の教育課題を十分に理解したうえで、実態に即して解決を思考する能力を備える。教育実践や学校運営の実践を理論的に検討する能力を備える。学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を備える。学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現し伝達する能力を備える。 (関心・意欲・態度) 教職への強い使命感を持ち、学校や地域の課題に対して深い関心と明確な課題意識を持っている。地域の教育課題解決に向けて研究・実践する意欲がある。主体的に課題を探究する態度を備える。課題について多様な考え方を適用する態度を備える。様々な人々と協働して課題を解決する態度を備える。							

専門科目	学校マネジメントコース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修
共通科目	必修	実習科目	必修

授業実践コース【学部卒院生】のカリキュラムと育成する力

修了時の力	(知識・理解・技能) 授業実践に関する高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 (思考・判断・表現) 児童生徒理解や学習指導について幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。 (関心・意欲・態度) 教育実践に関する多様な社会的ニーズと研究課題を明確に意識し、学校組織の一員として自己の役割を果たすことができる。				
	児童生徒理解力	教育方法に関する専門性を養い、ICT活用も含めて指導方法を工夫しつつ学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合って教育実践の向上につなげていくことができる。	教員を志す者としての自覚を持ち、自己の成長に努めていくことができる。	
	児童生徒理解力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力	
第2学期	総合実践研究 (授業実践)				
	授業実践実習Ⅱ (学部卒用)				
第1学期	教育実践研究Ⅱ (授業実践)				
		【5教科】授業分析・改善演習			
		【5教科】教育マネジメントの理論と実践			
		高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発			
	教育相談の理論と実践				
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践			
第2学期	授業実践実習Ⅰ (学部卒用)				
	教育実践研究Ⅰ (授業実践)				
		【5教科】教材研究・開発の理論と実践			
	就学前からの発達と教育実践				
	高知県の学校教育をめぐる現代的課題				
	学級経営の理論と実践				
			開かれた教育課程の開発と実践		
第1学期		【5教科】学習指導法の理論と実践			
		授業におけるICT活用の開発的実践			
		教育評価から捉える子どもの心理と理解			
		道徳教育の理論と実践			
		教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー			
		変動する社会と生徒指導の理論と実践		学校組織マネジメントの理論と実践	
		アクティブラーニングの理論と実践			
	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践		ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践		
入学時の力	(知識・理解・技能) 学校教育に関する一定の理解と、教育実践に必要とされる幅広い教養や教育に関する総合的な事項を理解するために必要となる知識・技能を備える。学校や地域の教育課題を理解する能力を備える。 (思考・判断・表現) 学校や地域の教育課題を理解したうえで、その解決を思考する能力を備える。教育実践や教育活動が組織的に運営されることを理論的に検討する能力を備える。学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を備える。学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現し伝達する能力を備える。 (関心・意欲・態度) 教職への強い情熱を持ち、複雑化・多様化する教育課題に対して深い関心を持っている。学級経営や学習指導に関する実践的指導力を発揮しようとし、将来学校のリーダーとしての役割を果たそうとする意欲を持っている。主体的に課題を探究する態度を備える。課題について多様な考え方を適用する態度を備える。様々な人々と協働して課題を解決する態度を備える。				

専門科目	授業実践コース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修
共通科目	必修	実習科目	必修

授業実践コース【現職教員院生】のカリキュラムと育成する力

修了時の力	(知識・理解・技能) 授業実践に関する高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 (思考・判断・表現) 児童生徒理解や学習指導について幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、学習目標の達成に向けて開発的な授業実践を行うことができる。 (関心・意欲・態度) 教育実践に関する多様な社会的ニーズと研究課題を明確に意識し、学校の教育課題を解決するために、学習指導に関する方策を企画立案し、実行することができる。			
	児童生徒理解力	教育方法に関する専門性を高め、ICT活用も含めて指導方法を工夫・開発しつつ学習目標の達成に向けた授業改善を続けていくことができる。	学校組織の一員として、人材育成に努めながら自己の役割を果たし、互いに学び合って教育実践力の向上につなげていくことができる。	自ら学び続ける意欲をもち、課題意識や探究心をもって研鑽を積み、自己を高めることができる。
第2学期	総合実践研究 (授業実践)			
	授業実践実習Ⅱ (現職教員用)			
	教育実践研究Ⅱ (授業実践)			
		【5教科】授業分析・改善演習		
		【5教科】教育マネジメントの理論と実践		
第1学期	高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発			
	教育相談の理論と実践			
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践		
第2学期	授業実践実習Ⅰ (現職教員用)			
	教育実践研究Ⅰ (授業実践)			
		【5教科】教材研究・開発の理論と実践		
	就学前からの発達と教育実践			
		高知県の学校教育をめぐる現代的課題		
	学級経営の理論と実践			
第1学期		【5教科】学習指導法の理論と実践		
		授業におけるICT活用の開発的実践		
	教育評価から捉える子どもの心理と理解			
		道徳教育の理論と実践		
		教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー		
	変動する社会と生徒指導の理論と実践		学校組織マネジメントの理論と実践	
		アクティブラーニングの理論と実践		
	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践		ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	
入学時の力	(知識・理解・技能) 高度な教育実践に必要な幅広い教養や教育に関する専門的総合的な知識を理解するために必要となる教育・教育実践に関する知識・技能を備える。学校や地域の教育課題を十分に理解する能力を備える。 (思考・判断・表現) 学校や地域の教育課題を十分に理解したうえで、実態に即して解決を思える能力を備える。教育実践や学校運営の実践を理論的に検討する能力を備える。学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を備える。学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現し伝達する能力を備える。 (関心・意欲・態度) 教職への強い使命感を持ち、学校や地域の課題に対して深い関心と明確な課題意識を持っている。地域の教育課題解決に向けて研究・実践する意欲がある。主体的に課題を探究する態度を備える。課題について多様な考え方を適用する態度を備える。様々な人々と協働して課題を解決する態度を備える。			

専門科目	授業実践コース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修
共通科目	必修	実習科目	必修

特別支援教育コース【学部卒院生】のカリキュラムと育成する力

修了時の力	(知識・理解・技能) 特別支援教育に関する最新の知見に基づく高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 (思考・判断・表現) 障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法に関する高度な専門性を持ち、指導方法を工夫しつつ学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。 (関心・意欲・態度) 学校組織の一員として自己の役割を果たし、特別支援教育の実践を改善し、児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じた対応をしていくことができる。			
	児童生徒理解力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力
2年	第2学期	総合実践研究(特別支援教育)		
		特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用)		
	第1学期	教育実践研究Ⅱ(特別支援教育)		
		知的障害指導の理論と実践		
		病弱評価の基礎と実際		
		高知県の特別支援教育の実態把握と分析		
		教育相談の理論と実践		
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践		
		特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用)		
		教育実践研究Ⅰ(特別支援教育)		
1年	第2学期	注意欠如多動症指導の理論と実践		
		限局性学習症指導の理論と実践		
		特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築		
	高知県の学校教育をめぐる現代的課題			
	学級経営の理論と実践		開かれた教育課程の開発と実践	
	第1学期	肢体不自由評価の基礎と実際		
		注意欠如多動症評価の基礎と実際		
		限局性学習症評価の基礎と実際		
		教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー		
		変動する社会と生徒指導の理論と実践		学校組織マネジメントの理論と実践
		アクティブラーニングの理論と実践		
ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践			ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	
(知識・理解・技能) 学校教育に関する一定の理解と、教育実践に必要とされる幅広い教養や教育に関する総合的な事項を理解するために必要となる知識・技能を備える。学校や地域の教育課題を理解する能力を備える。 (思考・判断・表現) 学校や地域の教育課題を理解したうえで、その解決を思考する能力を備える。教育実践や教育活動が組織的に運営されることを理論的に検討する能力を備える。学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を備える。学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現し伝達する能力を備える。 (関心・意欲・態度) 教職への強い情熱を持ち、複雑化・多様化する教育課題に対して深い関心を持っている。学級経営や学習指導に関する実践的指導力を発揮しようとし、将来学校のリーダーとしての役割を果たそうとする意欲を持っている。主体的に課題を探究する態度を備える。課題について多様な考え方を適用する態度を備える。様々な人々と協働して課題を解決する態度を備える。				
専門科目	特別支援教育コース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修	
共通科目	必修	実習科目	必修	

特別支援教育コース【現職教員院生】のカリキュラムと育成する力

修了時の力	(知識・理解・技能) 特別支援教育に関する最新の知見に基づく高度な専門的知識と教育実践力を修得している。 (思考・判断・表現) 障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法に関する高度な専門性を持ち、組織的・計画的に特別支援教育体制を改善し続けることができる。 (関心・意欲・態度) 学校組織の一員として自己の役割を果たし、特別支援教育の実践を改善し、組織的な推進体制を構築・継続していくことができる。				
	児童生徒理解力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力	
2年	総合実践研究(特別支援教育)				
	特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)				
	教育実践研究Ⅱ(特別支援教育)				
	知的障害指導の理論と実践				
	病弱評価の基礎と実際				
	高知県の特別支援教育の実態把握と分析				
	教育相談の理論と実践				
		ICTを活用したデジタル教育の理論と実践			
	1年	特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用)			
		教育実践研究Ⅰ(特別支援教育)			
		注意欠如多動症指導の理論と実践			
		限局性学習症指導の理論と実践			
			特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築		
高知県の学校教育をめぐる現代的課題					
学級経営の理論と実践					
			開かれた教育課程の開発と実践		
肢体不自由評価の基礎と実際					
注意欠如多動症評価の基礎と実際					
限局性学習症評価の基礎と実際					
教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー					
		学校組織マネジメントの理論と実践			
変動する社会と生徒指導の理論と実践					
	アクティブラーニングの理論と実践				
ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践			ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践		
入学時の力	(知識・理解・技能) 高度な教育実践に必要な幅広い教養や教育に関する専門的総合的な知識を理解するために必要となる教育・教育実践に関する知識・技能を備える。学校や地域の教育課題を十分に理解する能力を備える。 (思考・判断・表現) 学校や地域の教育課題を十分に理解したうえで、実態に即して解決を思考する能力を備える。教育実践や学校運営の実践を理論的に検討する能力を備える。学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を備える。学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現し伝達する能力を備える。 (関心・意欲・態度) 教職への強い使命感を持ち、学校や地域の課題に対して深い関心と明確な課題意識を持っている。地域の教育課題解決に向けて研究・実践する意欲がある。主体的に課題を探究する態度を備える。課題について多様な考え方を適用する態度を備える。様々な人々と協働して課題を解決する態度を備える。				

専門科目	特別支援教育コース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修
共通科目	必修	実習科目	必修

## 時間割【1年次配当】

実習科目	共通科目	総合実践力科目	専門科目				
			学校マネジメントコース	授業実践コース	特別支援教育コース		
専門科目は、該当コースの科目を4科目以上履修。							
1学期	月	火	水	木	金		
1	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	実習Ⅰ	教育実践研究Ⅰ	教育評価から捉える子どもの心理と理解	アクティブラーニングの理論と実践	実習Ⅰ	教育実践研究Ⅰ
2	学校組織マネジメントの理論と実践			教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー(※1)	学級経営の開発的実践 肢体不自由評価の基礎と実際		
3	学校管理職の役割と実践 道徳教育の理論と実践			授業におけるICT活用の開発的実践			
4	5教科 学習指導法の理論と実践			変動する社会と生徒指導の理論と実践			
5	注意欠如多動症評価の基礎と実際			限局性学習評価の基礎と実際			
集中	学校組織開発の理論と実践						

※1・2は、1年次に必修。

※実習・教育実践研究は、火・水(2学期のみ)・金を中心として設定する。

2学期	月	火	水	木	金	
1	特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築	実習Ⅰ	教育実践研究Ⅰ	開かれた教育課程の開発と実践	実習Ⅰ	教育実践研究Ⅰ
2	高知県の学校教育をめぐる現代的課題(※2)			学級経営の理論と実践		
3	保幼小中高の連携によるキャリア発達			就学前からの発達と教育実践		
4	5教科 教材研究・開発の理論と実践			学校に求められるリスクマネジメント		
5	注意欠如多動症指導の理論と実践			限局性学習症指導の理論と実践		
集中	学校組織開発のための学校評価					

## 時間割【2年次配当】

実習科目	共通科目	総合実践力科目	専門科目		
			学校マネジメントコース	授業実践コース	特別支援教育コース

専門科目は、該当コースの科目を4科目以上履修。

1学期	月	火	水	木	金	
1		実習Ⅱ	教育実践研究Ⅱ	実習Ⅱ	教育実践研究Ⅱ	高知県の特別支援教育の実態把握と分析
2						高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発
3	ICTを活用したデジタル教育の理論と実践					教育相談の理論と実践
4	組織的な生徒指導と人権教育					高知県の地域教育リソース開発
5	5教科 教育マネジメント (授業デザイン)の理論と実践					
集中	病弱評価の基礎と実際					

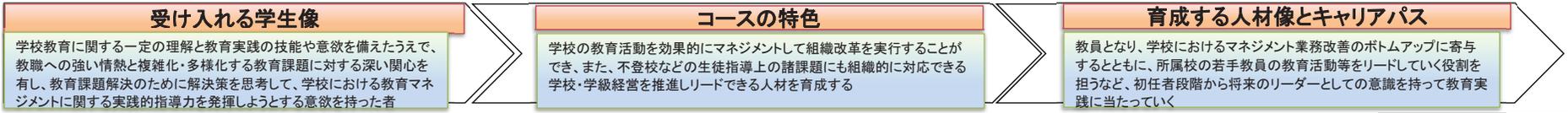
※実習・教育実践研究は、火・水・金を中心として設定する。

2学期	月	火	水	木	金
1		実習Ⅱ	教育実践研究Ⅱ	実習Ⅱ	教育実践研究Ⅱ
2					
3					
4					
5	5教科 授業分析・改善演習				
集中	学校組織開発演習				
	知的障害指導の理論と実践				
	総合実践研究(学校マネジメント・授業実践・特別支援教育)				

### 履修スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年 次	共通科目	共通科目						共通科目					
	専門科目	コース別専門科目						コース別専門科目					
	総合実践力科目	教育実践研究Ⅰ（2単位）											
	実習科目	省察						実習Ⅰ（4単位）					
2 年 次	共通科目	共通科目						共通科目					
	専門科目	コース別専門科目						コース別専門科目					
	総合実践力科目	教育実践研究Ⅱ（4単位）											
	実習科目	省察						省察					
								総合実践研究（2単位）					
		実習Ⅱ（6単位）											
		総括											

## 教職実践高度化専攻 専門職学位課程 履修モデル(ストレートマスター用)【学校マネジメントコース】



**修了要件 共通科目20単位、専門科目8単位以上、総合実践力科目8単位、実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること**

**必修科目：赤字**

	年次	1年次				2年次				
		第1学期		第2学期		第1学期		第2学期		
		科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
共通科目	学校マネジメント、授業実践、特別支援教育に関する基礎的な内容と高知県の教員としての基礎的な力量を身に付ける。	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	2	開かれた教育課程の開発と実践	2					教育課程の編成・実施に関する領域
		アクティブラーニングの理論と実践	2			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践	2			教科等の実践的な指導方法に関する領域
		変動する社会と生徒指導の理論と実践	2			教育相談の理論と実践	2			生徒指導及び教育相談に関する領域
		学校組織マネジメントの理論と実践	2	学級経営の理論と実践	2					学級経営及び学校経営に関する領域
		教育実践を科学する-データサイエンスでみる高知県の教育課題-	2	高知県の学校教育をめぐる現代的課題	2					学校教育と教員の在り方に関する領域
	修得単位数		10		6		4		0	共通科目計 20
専門科目	学校マネジメントに関する理論と学校全体としての組織的な取組について学修する。	学級経営の開発的実践	2	保幼小中高の連携によるキャリア発達 学校に求められるリスクマネジメント	2	組織的な生徒指導と人権教育	2			学校マネジメントコース
		修得単位数		2		4		2		0
総合実践力科目	実習における課題の検討や効果の検証等を行って、理論と実践の融合を図りながら、教育実践を省察・総括する。	教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント)(通年)		教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント)(通年)	2	教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント)(通年)		教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント)(通年)	4	学校マネジメントコース 総合実践研究(学校マネジメント)
		修得単位数		0		2		0		
実習科目	学校マネジメントに関する教育課題を主体的に解決することのできる高度な教育実践力を身に付ける。	学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用)(通年)		学校マネジメント実習Ⅰ(学部卒用)(通年)	4	学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用)(通年)		学校マネジメント実習Ⅱ(学部卒用)(通年)	6	学校マネジメントコース
		修得単位数		0		4		0		6
合計			12		16		6		12	総修得単位数 46

## 教職実践高度化専攻 専門職学位課程 履修モデル(現職教員院生用)【学校マネジメントコース】

### 受け入れる学生像

主幹教諭や管理職への昇任が見込まれる実務経験10年以上の中堅教員や、実務経験が10年未満であっても生徒指導分野における中核的役割が期待できる教員

### コースの特色

学校の教育活動を効果的にマネジメントして組織改革を実行することができ、また、不登校などの生徒指導上の諸課題にも組織的に対応できる学校・学級経営を推進しリードできる人材を育成する

### 育成する人材像とキャリアパス

学校組織マネジメントや学級経営、生徒指導に関する研究を行っている指定校等において、学修したことを生かして、PDCAサイクルが機能する仕組みを設けるなど学校全体としての組織的な取組をリードして、学校の教育力を向上させていく

**修了要件** 共通科目20単位、専門科目8単位以上、総合実践力科目8単位、実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること

**必修科目**：赤字

年次	1年次				2年次				必修科目	
	第1学期		第2学期		第1学期		第2学期			
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
共通科目	学校マネジメント、授業実践、特別支援教育に関する基礎的な内容と高知県の教員としての基礎的な力量を身に付ける。	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	2	開かれた教育課程の開発と実践	2				教育課程の編成・実施に関する領域	
		アクティブラーニングの理論と実践	2			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践	2		教科等の実践的な指導方法に関する領域	
		変動する社会と生徒指導の理論と実践	2			教育相談の理論と実践	2		生徒指導及び教育相談に関する領域	
		学校組織マネジメントの理論と実践	2	学級経営の理論と実践	2				学級経営及び学校経営に関する領域	
		教育実践を科学する-データサイエンスでみる高知県の教育課題-	2	高知県の学校教育をめぐる現代的課題	2				学校教育と教員の在り方に関する領域	
	修得単位数	10	6	4	0	共通科目計	20			
専門科目	学校マネジメントに関する理論と学校全体としての組織的な取組について学修する。	学校管理職の役割と実践	2	学校に求められるリスクマネジメント	2	高知県の地域教育リソース開発	2	学校組織開発演習	2	学校マネジメントコース
		修得単位数	2	2	2	2	専門科目計	8		
総合実践力科目	実習における課題の検討や効果の検証等を行って、理論と実践の融合を図りながら、教育実践を省察・総括する。	教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント)(通年)		教育実践研究Ⅰ(学校マネジメント)(通年)	2	教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント)(通年)		教育実践研究Ⅱ(学校マネジメント)(通年)	4	学校マネジメントコース
		修得単位数	0	2	0	6	総合実践力科目計	8		
実習科目	学校マネジメントに関する教育課題を主体的、探究的、協働的に解決することのできる高度な教育実践力を身に付ける。	学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員用)(通年)		学校マネジメント実習Ⅰ(現職教員用)(通年)	4	学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員用)(通年)		学校マネジメント実習Ⅱ(現職教員用)(通年)	6	学校マネジメントコース
		修得単位数	0	4	0	6	実習科目計	10		
合計		12	14	6	14	総修得単位数	46			

## 教職実践高度化専攻 専門職学位課程 履修モデル(ストレートマスター用)【授業実践コース】

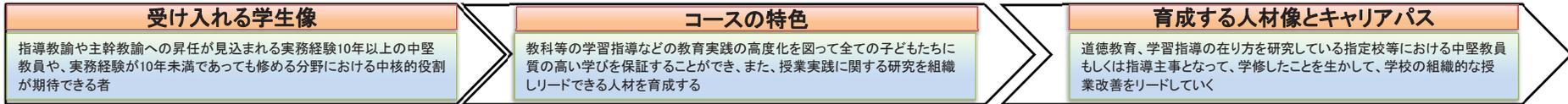
受け入れる学生像	コースの特色	育成する人材像とキャリアパス
学校教育に関する一定の理解と教育実践の技能や意欲を備えたうえで、教職への強い情熱と複雑化・多様化する教育課題に対する深い関心を有し、教育課題解決のために解決策を思考して、学習指導に関する実践的指導力を発揮しようとする意欲を持った者	教科等の学習指導などの教育実践の高度化を図って全ての子どもたちに質の高い学びを保证することができ、また、授業実践に関する研究を組織しリードできる人材を育成する	教員となり、学校における授業改善のボトムアップに寄与するとともに、所属校の若手教員の授業改善等をリードしていく役割を担うなど、初任者段階から将来のリーダーとしての意識を持って教育実践に当たっていく

**修了要件** 共通科目20単位, 専門科目8単位以上, 総合実践力科目8単位, 実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること

**必修科目 : 赤字**

年次	1年次				2年次					
	第1学期		第2学期		第1学期		第2学期			
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
共通科目	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	2	開かれた教育課程の開発と実践	2					教育課程の編成・実施に関する領域	
	アクティブラーニングの理論と実践	2			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践	2				教科等の実践的な指導方法に関する領域
	変動する社会と生徒指導の理論と実践	2			教育相談の理論と実践	2				
	学校組織マネジメントの理論と実践	2	学級経営の理論と実践	2						学級経営及び学校経営に関する領域
	教育実践を科学する-データサイエンスでみる高知県の教育課題-	2	高知県の学校教育をめぐる現代的課題	2						
	修得単位数	10		6		4		0		共通科目計 20
専門科目	道徳教育の理論と実践	2	就学前からの発達と教育実践	2	高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発	2			授業実践コース	
	学習指導に関する理論と児童生徒理解や多様な教育方法について学修する。	2								
	教育評価から捉える子どもの心理と理解	2								
修得単位数	4		2		2		0	専門科目計 8		
総合実践力科目	実習における課題の検討や効果の検証等を行って、理論と実践の融合を図りながら、教育実践を省察・総括する。		教育実践研究Ⅰ(授業実践)(通年)	2	教育実践研究Ⅱ(授業実践)(通年)		教育実践研究Ⅱ(授業実践)(通年)	4	授業実践コース	
						総合実践研究(授業実践)	2			
	修得単位数	0		2		0		6		総合実践力科目計 8
実習科目	授業実践に関する教育課題を主体的に解決することのできる高度な教育実践力を身に付ける。		授業実践実習Ⅰ(学部卒用)(通年)	4	授業実践実習Ⅱ(学部卒用)(通年)		授業実践実習Ⅱ(学部卒用)(通年)	6	授業実践コース	
	修得単位数	0		4		0		6		実習科目計 10
合計		14		14		6		12	総修得単位数 46	

## 教職実践高度化専攻 専門職学位課程 履修モデル(現職教員院生用)【授業実践コース】

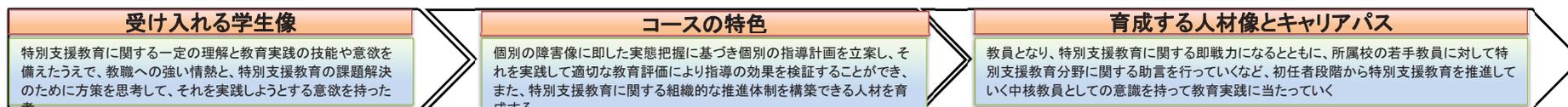


**修了要件** 共通科目20単位, 専門科目8単位以上, 総合実践力科目8単位, 実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること

**必修科目 : 赤字**

年次	学期	1年次				2年次				領域	単位数
		第1学期		第2学期		第1学期		第2学期			
		科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
共通科目	学校マネジメント, 授業実践, 特別支援教育に関する基礎的な内容と高知県の教員としての基礎的な力量を身に付ける。	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	2	開かれた教育課程の開発と実践	2					教育課程の編成・実施に関する領域	
		アクティブラーニングの理論と実践	2			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践	2			教科等の実践的な指導方法に関する領域	
		変動する社会と生徒指導の理論と実践	2			教育相談の理論と実践	2			生徒指導及び教育相談に関する領域	
		学校組織マネジメントの理論と実践	2	学級経営の理論と実践	2					学級経営及び学校経営に関する領域	
		教育実践を科学する-データサイエンスでみる高知県の教育課題-	2	高知県の学校教育をめぐる現代的課題	2					学校教育と教員の在り方に関する領域	
	修得単位数	10	6	4	0	共通科目計	20				
専門科目	学習指導に関する理論と児童生徒理解や多様な教育方法について学修する。	英語科学習指導法の理論と実践	2	英語科教材研究・開発の理論と実践	2	英語科の教育マネジメントの理論と実践	2	英語科授業分析・改善演習	2	授業実践コース	
	修得単位数	2	2	2	2	専門科目計	8				
総合実践力科目	実習における課題の検討や効果の検証等を行って、理論と実践の融合を図りながら、教育実践を省察・総括する。	教育実践研究Ⅰ(授業実践)(通年)		教育実践研究Ⅰ(授業実践)(通年)	2	教育実践研究Ⅱ(授業実践)(通年)		教育実践研究Ⅱ(授業実践)(通年)	4	授業実践コース	
	修得単位数	0	2	0	6	総合実践力科目計	8				
実習科目	授業実践に関する教育課題を主体的、探究的、協働的に解決することのできる高度な教育実践力を身に付ける。	授業実践実習Ⅰ(現職教員用)(通年)		授業実践実習Ⅰ(現職教員用)(通年)	4	授業実践実習Ⅱ(現職教員用)(通年)		授業実践実習Ⅱ(現職教員用)(通年)	6	授業実践コース	
	修得単位数	0	4	0	6	実習科目計	10				
合計		12	14	6	14	総修得単位数	46				

## 教職実践高度化専攻 専門職学位課程 履修モデル(ストレートマスター用)【特別支援教育コース】



**修了要件 共通科目20単位, 専門科目8単位以上, 総合実践力科目8単位, 実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること**

**必修科目 : 赤字**

年次 学期	1年次				2年次				必修科目 : 赤字	
	第1学期		第2学期		第1学期		第2学期			
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
共通科目	学校マネジメント, 授業実践, 特別支援教育に関する基礎的な内容と高知県の教員としての基礎的な力量を身に付ける。	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	2	開かれた教育課程の開発と実践	2				教育課程の編成・実施に関する領域	
		アクティブラーニングの理論と実践	2			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践	2		教科等の実践的な指導方法に関する領域	
		変動する社会と生徒指導の理論と実践	2			教育相談の理論と実践	2			生徒指導及び教育相談に関する領域
		学校組織マネジメントの理論と実践	2	学級経営の理論と実践	2					学級経営及び学校経営に関する領域
		教育実践を科学する-データサイエンスでみる高知県の教育課題-	2	高知県の学校教育をめぐる現代的課題	2					学校教育と教員の在り方に関する領域
	修得単位数	10	6	4	0	共通科目計	20			
専門科目	特別支援教育に関する理論と障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法を学修する。	注意欠如多動症評価の基礎と実際	2	特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築 注意欠如多動症指導の理論と実践	2 2	高知県の特別支援教育の実態把握と分析	2		特別支援教育コース	
	修得単位数	2	4	2	0	専門科目計	8			
総合実践力科目	実習における課題の検討や効果の検証等を行って、理論と実践の融合を図りながら、教育実践を省察・総括する。	教育実践研究Ⅰ(特別支援教育)(通年)		教育実践研究Ⅰ(特別支援教育)(通年)	2	教育実践研究Ⅱ(特別支援教育)(通年)		教育実践研究Ⅱ(特別支援教育)(通年)	4	特別支援教育コース
	修得単位数	0	2	0	6	総合実践力科目計	8			
実習科目	特別支援教育に関する教育課題を主体的に解決することのできる高度な教育実践力を身に付ける。	特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用)(通年)		特別支援教育実習Ⅰ(学部卒用)(通年)	4	特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用)(通年)		特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用)(通年)	6	特別支援教育コース
	修得単位数	0	4	0	6	実習科目計	10			
合計		12	16	6	12	総修得単位数	46			

教職実践高度化専攻 専門職学位課程 履修モデル(現職教員院生用)【特別支援教育コース】

受け入れる学生像

特別支援教育に積極的に関わってきた中堅教員で、障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法について学修し、特別支援教育に係る実践や組織体制を改善しようとしている者

コースの特色

個別の障害像に即した実態把握に基づき個別の指導計画を立案し、それを実践して適切な教育評価により指導の効果を検証することができ、また、特別支援教育に関する組織的な推進体制を構築できる人材を育成する

育成する人材像とキャリアパス

特別支援教育に関する高い専門性と実践力を備えた中核教員もしくは指導主事となって、特別支援教育の実践を改善し、組織的な推進体制の構築・継続をリードしていく

修了要件 共通科目20単位, 専門科目8単位以上, 総合実践力科目8単位, 実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること

必修科目 : 赤字

	年次	1年次				2年次				
		第1学期		第2学期		第1学期		第2学期		
		科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
共通科目	学校マネジメント、授業実践、特別支援教育に関する基礎的な内容と高知県の教員としての基礎的な力量を身に付ける。	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	2	開かれた教育課程の開発と実践	2					教育課程の編成・実施に関する領域
		アクティブラーニングの理論と実践	2			ICTを活用したデジタル教育の理論と実践	2			教科等の実践的な指導方法に関する領域
		変動する社会と生徒指導の理論と実践	2			教育相談の理論と実践	2			生徒指導及び教育相談に関する領域
		学校組織マネジメントの理論と実践	2	学級経営の理論と実践	2					学級経営及び学校経営に関する領域
		教育実践を科学する-データサイエンスでみる高知県の教育課題-	2	高知県の学校教育をめぐる現代的課題	2					学校教育と教員の在り方に関する領域
	修得単位数		10		6		4		0	共通科目 計 20
専門科目	特別支援教育に関する理論と障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法を学修する。	肢体不自由評価の基礎と実際	2	特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築	2	病弱評価の基礎と実際	2	知的障害指導の理論と実践	2	特別支援教育コース
	修得単位数		2		2		2		2	専門科目 計 8
総合実践力科目	実習における課題の検討や効果の検証等を行って、理論と実践の融合を図りながら、教育実践を省察・総括する。	教育実践研究Ⅰ(特別支援教育)(通年)		教育実践研究Ⅰ(特別支援教育)(通年)	2	教育実践研究Ⅱ(特別支援教育)(通年)		教育実践研究Ⅱ(特別支援教育)(通年)	4	特別支援教育コース
	修得単位数		0		2		0		6	総合実践力科目 計 8
実習科目	特別支援教育に関する教育課題を主体的、探究的、協働的に解決することのできる高度な教育実践力を身に付ける。	特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用)(通年)		特別支援教育実習Ⅰ(現職教員用)(通年)	4	特別支援教育実習Ⅱ(現職教員用)(通年)		特別支援教育実習Ⅲ(現職教員用)(通年)	6	特別支援教育コース
	修得単位数		0		4		0		6	実習科目 計 10
合計			12		14		6		14	総修得単位数 46

## 国立大学法人高知大学職員の定年規則

平成16年4月1日  
規則第24号

最終改正 平成26年3月26日規則第101号

(目的)

第1条 この規則は、国立大学法人高知大学職員就業規則（以下「就業規則」という。）第19条に基づき、職員の定年について、必要な事項を定める。

(定年)

第2条 職員の定年は、次の各号に定める年齢とする。

- (1) 大学教員 満65歳
- (2) 用務員、守衛等専ら労務に従事する職員 満63歳
- (3) 前2号に掲げる以外の職員 満60歳

2 定年による退職の日は、定年に達した日以後における最初の3月31日とする。

3 前2項の規定は、雇用の期間を定めて雇用された職員には適用しない。

(定年扱いの退職)

第3条 前条第1項第1号の規定にかかわらず、高知大学に在職していた大学教員から引き続き国立大学法人高知大学の教員となった者のうち、この規則の施行日の前日に高知大学教員定年規則において定年年齢が満63歳と規定されていた大学教員は、次条に定めるところにより、満63歳に達した日以後における最初の3月31日で退職することができる。

2 前項の規定による退職は、就業規則第17条第1項第2号に定める定年による退職として取り扱う。

(定年扱いの退職の手続)

第4条 前条に定める定年扱いの退職を希望する者は、文書をもって学長にその旨を申し出るものとする。

2 前項の申出があったときは、学長はこれを承認し、本人へ通知する。

3 前項の通知を受けた後は、これを変更することはできない。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成 19 年 3 月 31 日に国立大学法人高知大学の教務職員であった者が、平成 19 年 4 月 1 日に助手となった場合の定年年齢については、第 2 条第 1 項第 1 号の規定にかかわらず、満 60 歳とする。

附 則（平成 19 年 3 月 12 日規則第 96 号）

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 26 年 3 月 26 日規則第 101 号）

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

## 教職大学院以外の学内の学部・大学院等で担当する授業科目

区分		氏名	職種	教職大学院以外での担当科目		単位数
専任	研究者	中野 俊幸	教授			
専任	研究者	藤田 詠司	教授	学部	初等社会科指導法	2
					初等社会科指導法	2
					初等社会科	2
					教材開発演習 社会科	2
					専門演習Ⅰ	2
					専門演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅲ	2
					専門演習Ⅳ	2
					中等社会科指導法Ⅰ	2
					中等社会科指導法Ⅱ	2
専任	研究者	松本 秀彦	教授	共通教育	障害者支援入門	2
					障害者支援の理論と実践	2
専任	研究者	岩城 裕之	教授	学部	日本語学概説	2
					日本文法	2
					日本語学特講	2
					日本語学演習	2
					日本語学講読	2
					専門演習Ⅰ	2
					専門演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅲ	2
					専門演習Ⅳ	2
					教材開発演習(国語科)	2
専任	研究者	柳林 信彦	教授	学部	教育制度論A	2
				全学教職	教育制度論B	2
専任	研究者	是永かな子	教授	学部	専門演習Ⅰ	2
					専門演習Ⅱ	2
専任	研究者	野村 幸代	教授			
専任	研究者	古口 高志	教授	学部	教育相談A(初等)	2
				全学教職	教育相談C	2
専任	研究者	川俣 美砂子	准教授	学部	幼児教育指導計画論	2
					乳児保育Ⅱ	2
					保育原理	2
					保育者論	2
					乳児保育Ⅰ	2
					ペアレンティング	2
					高知の保育を考えるⅠ	2
					高知の保育を考えるⅡ	2
					教職実践演習(教諭) 幼児教育	2
					専門演習Ⅰ(幼)	2
					専門演習Ⅱ(幼)	2
					専門演習Ⅲ(幼)	2
					専門演習Ⅳ(幼)	2
専任	研究者	中城 満	准教授	学部	初等理科指導法	2
					初等理科指導法	2
					初等生活科指導法	2
					初等生活科指導法	2
					環境	2
					教材開発演習 理科	2
					身近な自然の観察Ⅱ	2
					身近な自然の観察Ⅰ	2
専任	研究者	横山 卓	准教授	学部	児童家庭福祉	2
					教育社会学	2
					教育科学基礎演習Ⅰ	2
					教育科学基礎演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅰ	2
					専門演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅲ	2
					専門演習Ⅳ	2
					教職入門A	2

教職大学院以外の学内の学部・大学院等で担当する授業科目

専任	研究者	服部 裕一郎	准教授	学部	初等数学科指導法	2
					中等数学科指導法Ⅱ	2
					中等数学科指導法Ⅲ	2
					教職実践演習(中・高)(理学部)	2
					教材開発演習 数学・算数	2
					専門演習Ⅰ	2
					専門演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅲ	2
専任	研究者	加納 理成	准教授	学部	解析学概説	2
					解析学Ⅰ	2
					解析学Ⅱ	2
					解析学Ⅲ	2
					解析学特講	2
					教材開発演習(数学)	2
					専門演習Ⅰ	2
					専門演習Ⅱ	2
専任	研究者	柴 英里	准教授	学部	家庭科概論	2
					食物学概論	2
					調理実習	2
専任	研究者	石嶺 ちづる	准教授	学部	教育制度論B	2
					教育制度論C	2
					教育行政学	2
					法知識・人権教育	2
					教育科学基礎演習Ⅰ	2
					教育科学基礎演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅰ	2
					専門演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅲ	2
					専門演習Ⅳ	2
					高知の保育を考えるⅠ	2
高知の保育を考えるⅡ	2					
専任	研究者	野中 陽一朗	准教授	学部	教育の方法・技術	2
					教育評価	2
					子どもの理解と援助	2
					教育科学基礎演習Ⅰ	2
					教育科学基礎演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅰ	2
					専門演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅲ	2
				専門演習Ⅳ	2	
				共通教育	教育心理学概論 C	2
					教育心理学概論 D	2
専任	研究者	古市 直樹	准教授	学部	教育の方法・技術	2
					教育課程論(初等)	2
専任	研究者	福住 紀明	講師	学部	学校カウンセリング(中等)	2
					教育科学基礎演習Ⅰ	2
					教育科学基礎演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅰ	2
					専門演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅲ	2
専門演習Ⅳ	2					

教職大学院以外の学内の学部・大学院等で担当する授業科目

専任	研究者	三ツ石 行宏	講師	学部	社会福祉	2
					相談援助	2
					社会的養護内容	2
					保育相談支援	2
					ペアレンティング	2
					社会的養護I	2
					高知の保育	2
					教職実践演習(教諭) 幼児教育	2
法知識・人権教育	2					
専任	研究者	袴田 綾斗	講師	学部	初等数学科指導法	2
					中等数学科指導法Ⅰ	2
					中等数学科指導法Ⅳ	2
					専門演習Ⅰ	2
					専門演習Ⅱ	2
					専門演習Ⅲ	2
					専門演習Ⅳ	2
					教職実践演習(理工学部)	2
専任	実務家	岡田 倫代	教授			
専任	実務家	森 有希	教授	学部	道德教育	2
				全学教職	道德教育B	2
					道德教育C	2
専任	実務家	橋本 典子	准教授			
専任	実務家	小田 通	准教授			
みなし専任	実務家	田中 元康	教授			
みなし専任	実務家	大西 雅人	教授			
みなし専任	実務家	宇川 浩之	講師			
みなし専任	実務家	小川 裕代	講師			
みなし専任	実務家	竹崎 優子	准教授			
みなし専任	実務家	瀬戸 保彦	准教授			
専任教員1人当たり年間単位数						8.9

合計単位数 266